設　　計　　図　　書

（特記仕様書・位置図・工事数量総括表）

令和　７　年度施行

帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

北海道帯広市

特　記　仕　様　書

特　記　仕　様　書

北　海　道　帯　広　市

（都市環境部環境室みどりの課）

２０２５．０４

目　　次

1　適用
2　土木工事積算基準等
3　概数
4　参考図
5　積算情報
~~6　施工条件の明示~~
7　施工計画書の作成
8　交通規制及び安全対策
9　安全訓練等の報告
~~10　用地境界標（杭）の取り扱い~~
11　段階確認事項
12　工事図面・工事写真の電子化
13　電子媒体
~~14　共同企業体編成表~~
15　工事材料品質確認願
16　完成届
~~17　路面桝等の施工~~
~~18　再生アスファルト混合物~~
~~19　アスファルト乳剤~~
20　コンクリート再生骨材
~~21　石材~~
~~22　マルチング材~~
23　建設副残物（建設発生土）
24　建設副産物（伐採・抜根・すき取り・抜開物等）
~~25　特定建設資材廃棄物の処理について~~
~~26　CCA防腐処理木製品の適切な処理について~~
~~27　工事現場発生品~~
~~28　樹木~~
~~29　植生客土（購入）~~
30　植生工
31　生芝
32　土系舗装工
33　地上地下の既設公共施設の被害防止について
34　資材納入伝票
~~35　北海道循環資源利用促進税~~
36　工事保険の加入について
37　技能士の活用について
38　成果品等の貸与
~~39　除雪工~~
40　工事成果品収納箱
41　現場環境改善費について
42　法定外の労災保険の付保について
43　1日未満で完了する作業の積算について
44　すき取り土の再利用
45　植生工に係る土質・土壌試験
~~46　施工歩掛について~~
~~47　ボルト・ナット等の締め付け~~
~~48　建築基準法による確認済証の表示~~
~~49　照明灯~~
50　保証書綴
51　取扱説明書
~~52　諸官庁申請手続き報告書~~
53　公園台帳
~~54　生コンクリート~~
55　週休2日工事の実施について
56　その他

様　式

・施工計画書
・工事看板記載仕様
・工事施工協議簿
・履行報告書
~~・境界杭立会確認書一覧表~~
~~・境界杭立会確認書~~
・段階確認願
~~・共同企業体編成表~~
・工事材料品質確認願
・再生骨材の出荷確認について
~~・現場発生品調書~~
・建設発生土受入契約書
・発生土受入証明書
~~・再資源化等報告書~~
~~・再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票~~
~~・土壌汚染対策法等手続の確認フロー~~
・指定機械一覧
・排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書
・送電線路付近工事協議書
・技能士活用状況報告書
・社内完成検査報告書
・借受書
・返納書
~~・建築物等立会確認書~~
・産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表
・施工体制報告書
・伐採枝・幹材搬入伝票
・立会願
~~・施工実績~~
~~・建築基準法による確認済証~~
・木材使用状況報告書
・公園台帳作成例
~~・ライフサイクルコスト調書~~
~~・種子散布工配合書~~

1　適用

本工事は、北海道建設部監修「土木工事共通仕様書（最新版）」（以下「共通仕様書」という。）に基づき施工するものとする。
また、「設計図書」、「共通仕様書」及び特記仕様書に記載のない場合においては、関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠すること。
その適用にあたっては、その都度工事監督員と協議すること。また、施工にあたって疑義、不明な点があれば同様に協議すること。
~~なお、照明工については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書（最新版）」及び（社）日本電気協会内線規程専門部会「内線規程（最新版）」に基づき施工するものとする。~~
そのほか、都市公園事業設計要領、帯広市都市公園移動等円滑化基準条例に基づくこと。

2　土木工事積算基準等

(1)　本設計図書は北海道建設部が制定した「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」及び「土木工事数量算出要領」に基づき作成している。
(2)　「土木工事積算基準」において定められている諸基準は次のとおりとしている。
① 機械施工と人力施工等施工方法の区分は設計図面等から判断しているが、機械施工が困難である場合を除き機械施工としている。
② 各基準において標準工法や標準機種が定められている場合、別途特記仕様書等で明示している場合を除き、標準工法・機種で積算している。
③ 上記①②については受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等によりこれにより難い場合は、必要に応じて設計変更する。
(3)　「土木工事工種体系化の手引き」において定められている事項については、規格・摘要欄に明示した内容に変更が生じた場合は、必要に応じて設計変更とする。

3　概数

(1)　「概数として扱う数量一覧表に示した数量」は、必要に応じて設計変更をするものとする。
(2)　この工事においては、設計変更に伴う変更図面や工事数量の算出は受注者が行うものとする。
(3)　概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等を作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入すること。
(4)　標準図は標準的な施工図または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
(5)　変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
(6)　概数として扱う数量一覧表で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、現地条件等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。
(7)　建設副産物の概数について
①解体・破砕費・運搬費
1. 構造物等の寸法を実測し算出した体積とする。計測した写真を提出し協議すること。
2. 構造物等の寸法実測が困難で体積・重量算出が不可能な場合（構造物等の形上が不定形な場合等）は産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出する。
3. 構造物等の寸法が実測されていない②以外の工種について、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出するが、過大な出来形に対しては変更しない。

~~4.舗装厚の実測方法~~

各舗装構成を１施工箇所として施工延長２０ｍにつき１箇所、施工延長が６０ｍ未満のものは３箇所、舗装厚を実測し平均値を算出する。

舗装厚を実測する際は、舗装を直接計測すること。

撤去舗装面積について設計と差異があり変更を必要とする場合は、施工前に工事監督員と現地立会を行い、変更資料を提出し協議すること。

②処分費

1.産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を提出し協議すること。処分数量から概数確定を判断するが、過大な出来形に対しては変更しない。

産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び検量書について工事監督員から指示を受けた場合、提出すること。

4　参考図

参考図として示した図面は、発注者が想定した工法、材料等を示したものであり、これに示されている事項については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難い場合は必要に応じて監督員と協議すること。なお、設計上過大な計画に対して変更するものではないことに留意すること。

5　積算情報

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

(1)　積算基準日　　令和　7　年　7　月 28　日

積 算 工 期　　令和　7　年　8　月 26　日　　～　　令和　7　年 11　月 20　日

(2)　積算工期には、準備期間(30日）、後片付け期間(32日）のほか雨天、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいる。

~~6　施工条件の明示~~

7　施工計画書の作成

(1)　受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、工事監督員との打合せを行うこと。

(2)　特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細（管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等）に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに工事監督員に報告し、必要に応じ協議すること。

(3)　施工計画書を提出し、確認を受けるまで工事に着手（物理的な行為）してはならない（測量、調査は除く）。ただし、工事監督員の承諾を得た場合は、この限りではない。

(4)　施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項等、共通仕様書に準じて記載すること。（掘削方法、転圧、敷均し方法、構造物の施工方法、工作物の撤去方法、仮設の方法等）

(5)　出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準は、共通仕様書に準じた管理基準のほか社内管理基準についても明記すること。また、どこの箇所（測点等）でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。

(6)　品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目を全て満足するよう、試験方法品質管理基準項目及び実施項目については工事監督員と協議のうえ記載すること。

(7)　特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項について、工事監督員と協議のうえ記載すること。
(8)　施工計画書で変更になる部分は、すみやかに工事監督員に提出すること。
~~(9)　道路交通法第７７条第１項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に添付すること。~~

8　交通規制及び安全対策

本工事は、下記の道路交通法で施工するものとする。下記の期間及び区間は最大限を示したものであり、施工にあたっては必要最小限に留めるよう努めなければならない。

~~(1)　規制の方法：歩道一時通行止め　・　片側交互通行　・　車道幅員減少　・　歩道幅員減少　・　作業時通行止め~~
(2)　交通誘導警備員
配置人数（　１　）人配置　~~交代要員　（　人含む）~~
市街地（人口集中地区及び準人口集中地区）及び公安委員会が認定する検定合格警備員の配置を必要とする路線に係る工事現場においては、警備業法による交通誘導警備検定合格者（１級又は２級）を最低１人以上配置することとし、施工計画書に警備業法による警備員名簿及び交通誘導警備検定合格書（いずれも写し）を添付すること。
（警備員名簿は、警備業法第４５条、同法施行規則第６６条第１項の要件に沿ったものとする。）
・ 地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により交通誘導警備員配置計画に変更が生じる場合には、工事監督員と協議すること。
・ 次により、施工計画書の交通管理項目に交通誘導警備員の配置を含めた交通処理計画を記載すること。
1　現地の交通状況などを確認の上、交通処理計画を作成すること。
2　交通管理者への許可申請等において、交通処理計画の変更を求められた場合には、工事監督員と協議すること。
3　毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通などに支障がないよう安全対策を講じること。
(3)　工事看板
工事看板は、「道路工事現場における標示施設等の設置基準」（昭和３７年８月３０日道発第３７２号建設省道路局長通達）に基づき標示するものとし、工事終了日、工事時間帯等を表示すること。
(4)　路面清掃
受注者は工事車両に泥土、土砂を付着したまま、工事区域及び建設発生土処理場から外部に出る恐れがある場合には、タイヤ清掃装置及びこれに類した装置を装着する等、その対策を講じること。
また、工事用機械及び車両の走行によって砂塵の被害を第三者に及ぼさないように、必要に応じて撒水あるいは路面清掃を行うこと。

9　安全訓練等の報告

『共通仕様書』１－１－１－３３に従い実施された安全・訓練等の状況を、開催毎の写真、出席者名簿（署名入り等）等を報告書に添付し提出すること。安全訓練の他に、災害防止協議会、安全パトロールの実施状況を添付し提出すること。ＫＹ活動や機材の点検記録等は提出を求めないが、社内で保管すること。

~~10　用地境界標（杭）の取り扱い~~

(1)　用地境界標（杭）とは、公園敷地界（国土交通省・北海道・帯広市）のみならず、民地界その他すべての境界標（杭）のことをいう。
(2)　受注者は工事着手前に現地調査を行い、測量時の境界杭立会確認書を基に用地境界標（杭）を確認し報告すること。また、工事中に杭が新たに確認できた場合は、受注者は土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書を自ら作成すること。

(3)　受注者は工事完成時に土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書にその内容を記入すること。
(4)　用地境界標（杭）を工事施工に起因して移設・損傷・紛失した場合は、受注者の責任で復元するものとするが、その作業は有資格者により行うものとし、工事監督員の承諾を得ること。

11　段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、『共通仕様書』１－１－１－２３の表１－１に示す段階確認のほかに、確認事項について工事監督員と協議すること。

・起工測量を行った時点。（丁張検査）
・路床の整正及び転圧が完了した時点。（路床検査）
・表層の施工が完了した時点。（舗装出来形検査）

12　工事図面・工事写真の電子化

(1)　工事図面
①記録図面の作成は出来形図と同様とし、撤去図など施工後に形態をなさないものは除くこととする。また、工事監督員が必要とする図面を作成すること。
②記録ファイル形式はPDF形式とP21形式の両方とする。
③PDFは設計値と出来形（朱書）の並記とし、P21については出来形値のみとする。文字化けなどが無いよう確認し記録すること。
④電子媒体索引簿（別紙様式）を作成し、媒体とともに提出すること。

(2)　工事写真
①工事写真は、デジタルカメラで撮影した全ての電子データをJPEG形式で保存し、各工種ごとにフォルダ整理すること。
必要に応じ説明文をテキスト形式(TXT)で、説明図等をビットマップ形式(BMP)で作成し、該当する写真フォルダに格納する。
写真枚数が多くなる場合には、サブフォルダを作成するなど工夫し管理すること。
②有効画素数は３００万画素程度とし、１，０００万画素以上の機種については、高画質でパソコンへの負荷が大きいため、カメラの画質を３００万画素程度に設定すること。
③写真の編集については原則認めないが、明るさ補正や回転・パノラマ・つなぎ写真等は行っても良い。ただし、ファイル名の後ろに補正したことと補正内容を記載すること。
④その他不可視部(配筋・基礎部等)の写真は、施工状況が判断できるよう適切な枚数を格納すること。

13　電子媒体

電子媒体について、次に留意し提出すること。
①記録媒体はDVDを基本とする。
②記録内容は、工事図面及び工事写真とする。
③媒体表面に、北海道建設部制定の『情報共有・電子納品運用ガイドライン【工事編】』７．１２．５．電子媒体等の表記に基づき記入すること。

~~14　共同企業体編成表~~

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後５日以内（着工届に添付）に共同企業体編成表作成のうえ工事監督員に提出すること。（別紙「共同企業体編成表」を参照のこと）

15　工事材料品質確認願

セメントコンクリート製品一般、アスファルト混合物、路盤材（切込砂利、コンクリート再生骨材）の試験成績表等については、次に挙げる取扱団体から発注者へ年度当初に一括提出されるので、「工事材料品質確認願」への添付は省略する。ただし、特殊な製品や配合、取扱団体加入社以外より納入される資材については提出が必要となるので、別途工事監督員と協議すること。

資　材　名	団　体	特記事項
コンクリート二次製品	十勝管内コンクリート二次製品協同組合	
アスファルト混合物	北海道舗装事業協会　帯広地区委員会	
路盤材（切込砂利）	十勝骨材共販協同組合	
路盤材（コンクリート再生骨材）	十勝再生骨材販売協同組合	

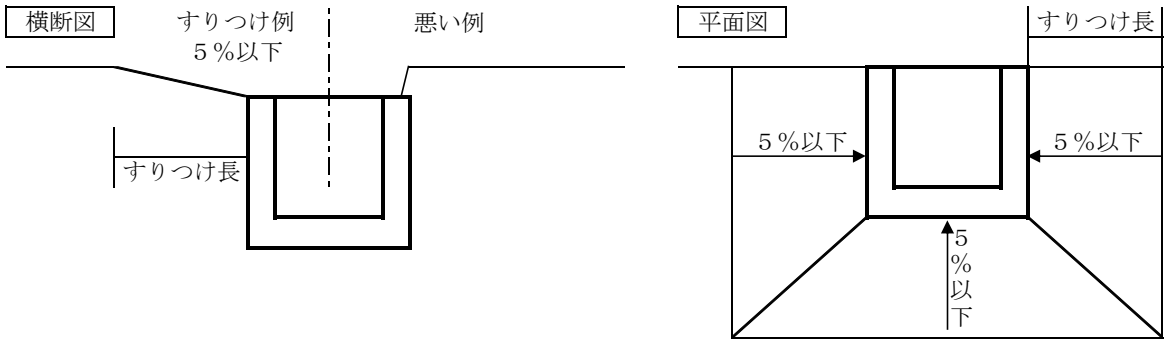
16　完成届

完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び測点等を記入するものとする。

~~17　路面桝等の施工~~

(1)　路面桝等、トラフ、基礎ブロックの施工について
①桝・トラフの施工は舗装勾配に合わせて施工すること。
②舗装完成時に舗装面より桝等がいかなる場合も突出してはいけない。
③すりつけ勾配は５％以下を標準とし、路肩内に納めること。
④取付管の接合部には、特殊接合剤を使用すること。

(2)　路面桝の施工について
①路面桝頂部が舗装面より20㎜以上下がるように設置すること。これによりがたい場合は、工事監督員と協議すること。
②桝をかさ上げする場合は、指定の製品を使用すること。



~~18　再生アスファルト混合物~~

(1)　本工事では再生アスファルト混合物を下表に示す再生骨材混入率に基づいて施工すること。また、再生アスファルト混合物に関する事項は、アスファルト舗装再生利用ガイドライン、プラント再生舗装技術指針等に従うものとする。

再生混合物	細粒度ｱｽｺﾝ（車道）	細粒度ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽｺﾝ	密粒度ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽｺﾝ	密粒度ｱｽｺﾝ	粗粒度ｱｽｺﾝ	ｱｽﾌｧﾙﾄ安定処理（車道）	細粒度ｱｽｺﾝ（歩道）	ｱｽﾌｧﾙﾄ安定処理（歩道）
混入率（%）	５０	５０	５０	５０	５０	５０	５０	５０

(2)　配合率５０％再生アスファルト混合物については１１月末日までの施工とし、１２月１日以降に舗設する場合は新材を使用すること。
(3)　密粒度アスコンの使用は１０月末日までとし、１１月１日以降は、原則、細粒度アスコンまたは細粒度ギャップアスコンを使用するものとする。ただし、他工事との調整等により、当初想定していた舗設時期が変更となる場合、使用する合材について監督員と協議すること。

~~19　アスファルト乳剤~~

アスファルト乳剤の散布量について、タックコートの場合 43ℓ/100㎡、プライムコートの場合126ℓ/100㎡を標準使用量とする。

20　コンクリート再生骨材

セメントコンクリート再生骨材を使用する場合は下記によるものとする。ただし、これにより難い場合は、工事監督員と協議のこと。
本工事で使用するコンクリート再生骨材は下記の再資源化施設を想定している。下記の再資源化施設を使用する場合、工期開始時に供給が不可能な場合は、別紙再生骨材の出荷確認様式で再資源化施設より回答を受け工事監督員と協議すること。

再資源化施設	所在地	備　　考
株式会社岩佐	帯広市西24条南6丁目5-16	

~~21　石材~~

車止め、園名石等に使用する石材は、本設計図書によるもののほか、共通仕様書第1編第2章第4節「石」の各項に適合するものとし、使用資材承認願に承認図とともに提出すること。

~~22　マルチング材~~

樹皮を粉砕したものとし、大きさは、幅2cm、長さ10cm以下程度のものを使用するものとする。

23　建設副産物（建設発生土）

(1)　本工事の建設発生土は下記を想定している。

	所　　在　　地	搬入予定土量	運搬距離	敷均しの有無	受入期間	使用公園名
	依田受入地 （幕別町字依田243番地3）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	
○	北2線受入地 （芽室町西士狩北2線59番地1）	90　m^3	L=　4.8　km	有　・　(無)	4　月　1　日 ～ 3　月　31　日	帯広の森
	清川受入地① （帯広市清川町東2線97番地1,2,3） （帯広市清川町東2線99番地2,3） （帯広市清川町東2線84番地1,2,3）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	
	清川受入地② （帯広市清川町東2線99番地1,6,7,8）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	
	中島東5線受入地 （帯広市中島町東5線96番地9）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	
	稲田町受入地 （帯広市稲田町9-1,川西町基線99）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	
	岩内受入地 （帯広市岩内町東1線7番地1）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	
	その外 （　　）	m^3	L=　　km	有　・　無	月　　日 ～ 月　　日	

↑　本工事該当箇所○印

(2)　搬入に先立ち受入先と受入契約を締結すること。（建設発生土受入契約書参照）

(3)　①搬入に先立ち、発注者及び受入先に土質試験表を必要に応じ提出すること。
　　②土質試験項目は最適含水比及び粒度分布等を試験し結果を提出するものとする。

(4)　搬入土内に、コンクリート廃材・アスファルト廃材・ゴミ等を混入させないこと。なお、混入が認められた場合は混入物を撤去することはもとより、今後受入を禁止される場合があるので厳守すること。

(5)　当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)に必要事項を記載し施工計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)は、工事着手日までに工事監督員に提出すること。また、実施状況を把握し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書(様式1)及び再生資源利用促進実施書(様式2)を作成し、工事完成後工事監督員に提出するとともに、5年間保存すること。なお、再生資源利用(促進)計画書(COBRIS)等)により作成すること。これにより難い場合、監督員と別途協議すること。

(6)　搬入路について砂利等が必要な場合は適宜敷均し補充すること。

(7)　搬入期間中に道路を汚損した場合は道路清掃人を配置し清掃を行うこと。また、清掃人には会社名を明示した腕章を着用させること。

(8)　工事完成時に下記の写真を提出すること。
　　① 搬入前後の比較ができる写真。
　　② 搬入土の土質が確認できる写真。
　　③ 道路清掃人及び清掃状況が確認できる写真。
　　④ 敷均しが必要な場合、敷均し状況が確認できる写真。

(9)　搬入前に、数量の確認方法等について工事監督員と協議をすること。

(10) 搬入完了後、受入者より建設発生土受入証明書を提出してもらい、工事監督員の確認を受けること。

(11) 再生資源利用計画計画書提出後に必ず工事監督員への説明を行うこと。

(12) 再生資源利用計画計画書の実施結果について、工事監督員から請求があった場合は報告を行うこと。

(13) 再生資源利用計画計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げるとともに、インターネット上での公表に可能な限り努めること。
(14) 合計で500㎥以上の建設発生土を搬出する場合、確認結果票を作成し工事監督員へ提出、説明のうえ工事現場の公衆が見やすい場所に掲げるとともに、工事完成日から5年間保存すること。
(15) 合計で500㎥以上の建設発生土を搬出する場合、再生資源利用促進計画書及び、確認結果票を運送業者へ通知すること。
(16) 合計で500㎥以上の建設発生土を搬出する場合、搬出後速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、搬出先が再生資源利用促進計画書と一致するか確認するとともに、受領書又はその写しを工事完成日から5年間保存すること。(電子データによる保存も可能)
(17) 合計で500㎥以上の建設発生土を他の建設工事やストックヤードから搬入する場合、搬入元に受領書を交付すること。また、搬入する建設発生土が500㎥未満であっても受領書の請求があれば交付すること。

24 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）【以下「伐根物等」という。】

(1) 工作物の新築・改築・除去に伴う工事により排出される抜根、伐採材等の木屑は産業廃棄物とする。
(2) 工作物の新築・改築・除去を伴わない工事により発生した抜根、伐採材、枝打ちした木、間伐材、流木等の木屑は一般廃棄物とする。
(3) 草、笹、草の根等のすき取り物、伐開物は一般廃棄物とする。
(4) 建設副産物(伐根物等)は、受注者において適正な処理施設（基本、帯広市内とする。）を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、工事監督員と協議すること。
※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。
(5) 当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)に必要事項を記載し施工計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)は、工事着手日までに工事監督員に提出すること。また、実施状況を把握し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書(様式1)及び再生資源利用促進実施書(様式2)を作成し、工事完成後工事監督員に提出するとともに、1 年間保存すること。なお、再生資源利用(促進)計画書(実施書)は、建設副産物に係わる情報入力システム(一般財団法人日本建設情報総合センターが提供する建設副産物情報交換システム(COBRIS)等)により作成すること。これにより難い場合、監督員と別途協議すること。
(6) 産業廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、適正に処理するとともに産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、５年間保存すること。また、工事完成後監督員に産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表を作成し提出すること。なお、産業廃棄物管理票のＡ票、Ｅ標及び受入伝票のコピーに関しては、監督員の指示があった場合に提出すること。
(7) 一般廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、基本、帯広市内の許可業者でなければできないので留意すること。また、一般廃棄物の許可は市町村なので注意すること。
(8) 本工事で発生する伐根物等は、下記に基づき適切に処理すること。
① 本工事受注者自らの車両で直接処分場へ運搬する場合、また、本工事受注者が、賃貸車両を使用し直接処分場へ運搬する場合は、運搬車両に看板等で会社名を明示すること。
② 廃棄物処理業の許可を受けた者を選定すること。
(9) 工事完成時に下記の写真及び調書を提出すること。
① 運搬の状況が確認できる写真（運搬車両が確認できるもの）
② 受入業者名（処分場の看板等）がわかり、搬入状況がわかる写真
(10) 工事現場内において発生した廃棄物等が混在しないよう適切に管理するとともに、すみやかに各処理場へ搬出すること。
(11) 有料となるものの処理費用は、本工事に含まれている。
(12) 幹材の搬入にあたっては、別紙「幹材の搬入について」を参照し、指定伝票を監督員に提出すること。
(13) 枝材の搬入にあたっては、指定の伝票のうち、「帯広有機西帯広牧場　ポスト投函用」は日ごとに処理場へ、「帯広市みどりの課　提出用」は、月ごとにまとめて監督員に提出すること。

30　植生工

~~種子散布工~~

(1)　栽培芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。

①　出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、ＣＡＤ計測によるものとしても良い。

②　植生状態は、植生面から１０ｍ離れると、全体が緑に見え、植被率が８０％以上であり、植生面に１ｍ四方以上の裸地が無いこと。また、草丈が１５ｃｍ以上であること。

③　工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。

(2)　公園芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。

①　出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、ＣＡＤ計測によるものとしても良い。

②　施工管理の判定基準は、次に示す品質を満足していなければならない。なお、測定数は500m2毎に1カ所発芽状況の疎な部分で行うものとする。

ａ　植生状態は、植生面から10m離れると、法面全体が「緑」に見え、植被率が80%以上であること。

ｂ　植生面に1m四方以上の裸地が無いこと。

ｃ　草丈が15cm以上であること。

③　工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。

張芝工

(1)　工事で使用する生芝の種類、施工方法及び管理については共通仕様書に準拠すること。

工程関係

(1)　種子散布工、張芝工の完了時期

種子散布工は、施工完了後5℃以上が60日以上確保される時期(9月6日を想定)までに施工を完了すること。

張芝工は、施工完了時期が日平均気温-5℃以上確保される時期(12月13日を想定)までに施工を完了すること。

なお、施工時期については芝の生育条件を十分考慮し施工計画書に明記すること。また、施工時期が当初工程より遅延する恐れが生じ生じた場合には監督員と協議すること。

31　生芝

(1)　使用する芝は、以下のものを使用する。

☑公園用芝　　□栽培土工芝　　□野芝　　□その他（　　）

(2)　公園用芝は、ケンタッキーブルーグラスを主体（80%以上）としたものとする。

32　土系舗装工

(1)　一般事項

①表面排水勾配については、設計図書で示されていない箇所及び部分的なすりつけを、監督員と協議すること。

②散水については、淡水を用いるものとし、ごみ、どろ、油、強いアルカリ等を有害量含んでいるものを使用してはならない。

(2)　施工

①表層については、均一に敷き均し、締固めに適した含水比に保てるよう散水しながら、転圧及び不陸修正を繰り返し、設計図書に示す高さ及び厚さに仕上なければならない。

②表層転圧後、表層安定剤を均一に散布すること。散布量については、100㎡当たり120kgとする。

33　地上地下の既設公共施設の被害防止について

電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

(1)　地上地下の既設公共施設の確認

工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実に行うこと。確認結果は工事監督員に報告すること。

(2)　施設管理者との協議等

既設公共施設の有無にかかわらず、すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。

(3)　施工計画書の提出

施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。

(4)　工事の着手

施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。

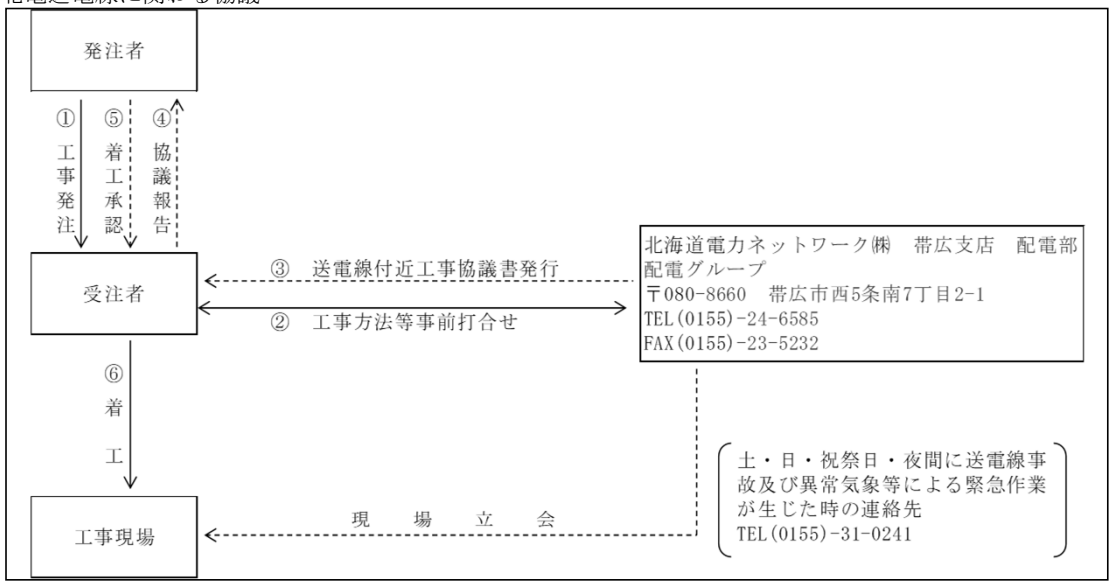
(5)　北電配電線・送電線設備

工事着工前に、北海道電力ネットワーク㈱と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記する。

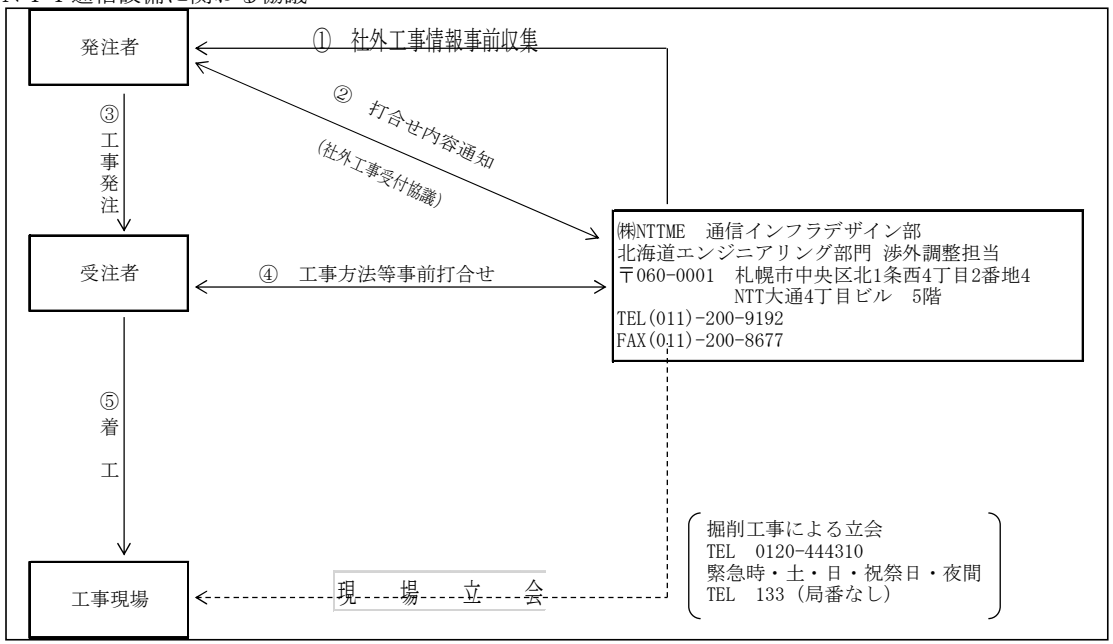
(6)　ＮＴＴ通信設備

工事着工前に、東日本電信電話㈱　北海道東支店と打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

北電送電線に関わる協議



ＮＴＴ通信設備に関わる協議



34　資材納入伝票

生コンクリート、路盤用骨材（切込砂利、砕石、砂、再生骨材等）及び採取土などの納入伝票は、工事監督員の確認のうえ全て受注者において保管すること。また、完了検査時には持参し検査員の求めに応じて速やかに提出できるようにしておくこと。なお、資材納入伝票の保存期間は５年間とする。

~~35　北海道循環資源利用促進税（以下、「循環税」という,）について~~

当工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。なお、循環税相当額が当初設計に計上されておらず、適切な工程管理のもと産業廃棄物を最終処分場または中間処理場に搬入し、循環税相当額が必要となる場合は、別途協議とする。

36　工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に加入しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し（保険以外の場合には、保険証券に代わるもの）を提出すること。

(1)　保険等の種類
　①　工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。（土木工事保険、組立保険等）
　②　工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険。（請負業者賠償責任保険等）
　③　上記に準ずるその他の保険。

(2)　保険等の金額
　①　請負代金以上。

(3)　保険等の期間
　①　工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

37　技能士の活用について

(1)　受注者は、工事目的物の品質の向上を図るために、技能士（職業能力開発促進法に基づく有資格者）の積極的な活用に努めるものとする。
(2)　技能士の活用の有無にかかわらず技能士活用状況報告書（別記様式）を作成し、予定については着工時に、実績については完成時に提出すること。
(3)　技能士を活用する場合は、技能士であることを確認できる資料として、地域技能士会が発行する資格証明書、または技能検定合格書の写し、あるいは技能士手帳の写しを技能士活用状況報告書に添付すること。

38　成果品等の貸与

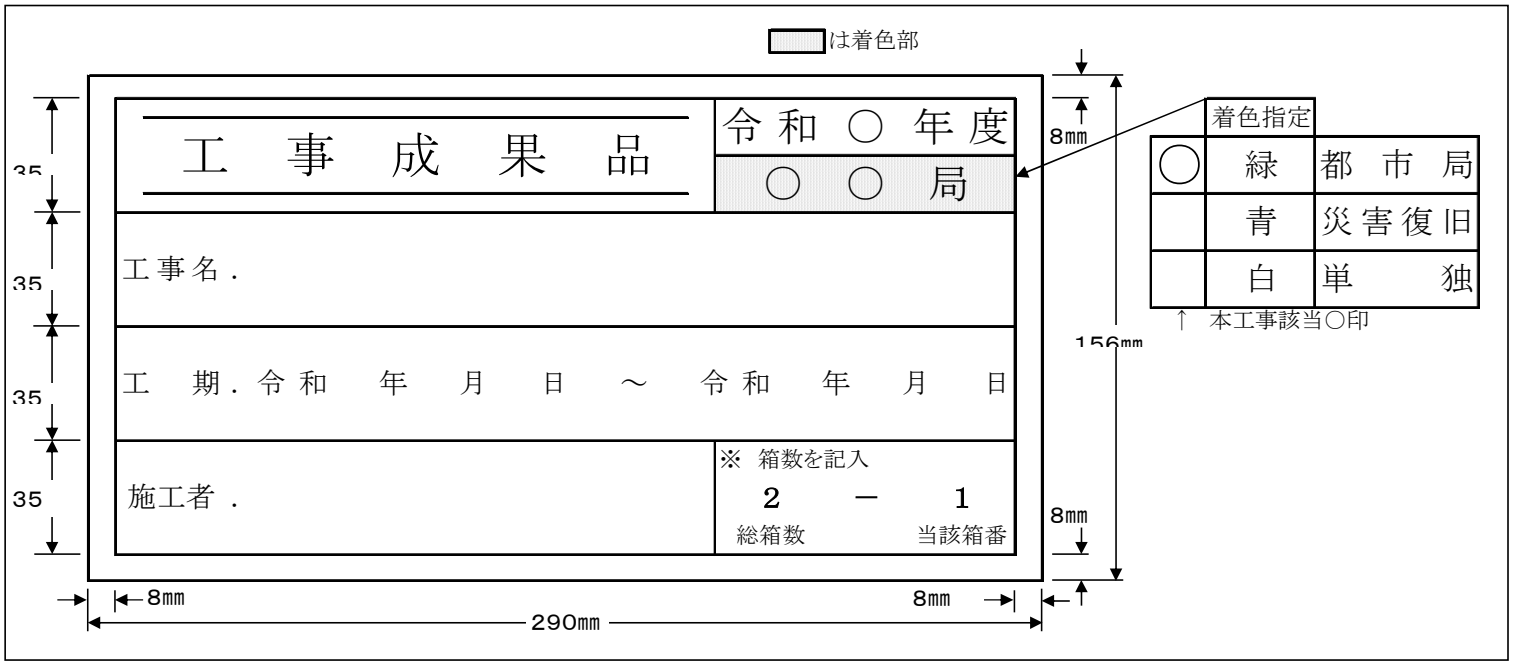
本工事を施工するにあたり、成果品等の貸与を受ける場合は、借受書及び返納書を提出すること。

~~39　除雪工~~

(1)　現場内に堆雪ヤードが無く現場外への排雪が必要となる場合は、工事監督員と協議のうえ搬出すること。
(2)　搬入前に工事監督員と、搬入時期、数量の確認方法について協議し、変更があった場合には直ちに報告すること。
　　搬入前に、数量の確認方法等について工事監督員と協議をすること。

40　工事成果品収納箱

(1)　工事成果品収納箱の仕様については、監督員と協議すること。
(2)　収納箱引出し前面部に下記タイトルを貼付すること。



41　現場環境改善費について

(1)　現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
(2)　現場環境改善の実施内容については、次のとおりとする。
①次の[別表]より、実施する項目を選択する。
②実施内容は、仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域連携のうち5項目を基本とし、具体的な実施内容・実施時期については、施工計画書を提出する際に協議すること。

[別表]

計上費目	実施する項目(率計上)
仮設備関係	1.用水・電力等の供給設備の充実　2.緑化・花壇　3.ライトアップ施設 4.見学路及び椅子の設置　5.昇降設備の充実　6.環境負荷の低減
営繕関係	1.現場事務所・監督員詰所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)　2.労働者宿舎の快適化 3.デザインボックス(交通誘導警備員待機室)の快適化　4.現場休憩所の快適化 5.健康関連施設及び厚生施設の充実等
安全関係	1.工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2.盗難防止対策(警報機等)　3.避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1.完成予想図　2.工法説明図　3.工事工程表　4.デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5.見学会等の開催(イベント等の実施含む)　6.見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7.パンフレット・工法説明ビデオ　8.地域対策費等(地域行事等の経費を含む)　9.社会貢献

(3)　工事完了時には、現場環境改善の実施状況がわかる写真等の資料を提出すること。

42　法定外の労災保険の付保について

本工事の受注者は、下記に従い、「法定外の労災保険」に付さなければならない。
(1)　この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害(後遺障害、死亡を含む)を被った場合に法定労災保険の保険給付に上乗せして雇用者が従業員等又は、その遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。
(2)　受注者は、本工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」(以下、「法定外労災保険」)を締結しなければならない。
本請負工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着手の前に「法定外労災保険」を締結すること。
(3)　受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写しもしくは加入証明書の原本または写しを、工事着手の前に、工事監督員へ提出しなければならない。
(4)　契約書23条に基づき本請負工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険期間外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、工事監督員へ提出しなければならない。

(5)　本請負工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無の契約内容は問わず、保険契約の事実のみ求めるものとする。

43　１日未満で完了する作業の積算について(施工パッケージ)

(1)　「１日未満で完了する作業の積算」（以下、「１日未満積算基準」と言う。）は、変更積算のみに適用する。
(2)　受注者は、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、「１日未満積算基準」の適用について協議の発議を行うことができる。
(3)　同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せで１日作業となる場合には、「１日未満積算基準」は適用しない。
(4)　受注者は、協議に当って、「１日未満積算基準」に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際の費用を示す資料等）を監督員に提出すること。実際の費用を示す資料（契約書、請求書等）により、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、「１日未満積算基準」は適用しない。
(5)　通年の維持管理業務など人工精算を前提として積算する場合等や通常の積算方法によることが適当と判断される場合には、「１日未満積算基準」を適用しない。

44　すき取り土の再利用

北海道建設部「すき取り土再利用暫定基準」に準拠すること。

45　植生工に係る土質・土壌試験

北海道建設部土木工事共通仕様書で植生工施工前に実施することとしている、土質・土壌試験の試験方法や試験基準については、次によること。

(1)　土の粒度試験
　試験方法は、JIS A 1204 土の粒度試験方法による。
　試験基準は、土質ごとに１箇所とする。ただし、他の工種で試験を実施している場合は省略することができる。
(2)　レキ含有量
　試験方法は、目視による。
　試験基準は、土質ごと１，０００m2につき１箇所とする。ただし、土質ごとの施工面積が１，０００m2未満の場合は、土質ごとに最低１箇所とする。
(3)　土壌硬度、有機含有量、土壌酸度（PH）、リン酸吸収力
　試験方法は、土壌及び作物栄養の診断基準（北海道立中央農業試験場、北海道農政部農業改良課）及び肥料分析法（農林水産省農業環境技術研究所）、またはこれらと同等の試験方法による。
　試験基準は、土質ごと１，０００m2につき１箇所とする。ただし、土質ごとの施工面積が１，０００m2未満の場合は、土質ごとに最低１箇所とする。

~~49　照明灯~~

(1)　照明灯（柱）の耐風設計速度は、建築基準法施行令に基づき、構造計算書を使用資材承認願に承認図とともに提出すること。
(2)　照明灯（柱）の表示プレートには下記の内容を表示すること。

プレート表示例　新設

公園灯

ポール番号	メイン園路－5	注1
ランプ出力	LED○○W	注2
定格電圧	○○V	注3
接地抵抗値	○○Ω	注4
施工	令和　年　月	注5

帯　広　市

注1　配線系列及び配電盤から何灯目かを表示
注2　使用ランプの表示
注3　電圧の表示
注4　試験値の表示
注5　設置年月
注6　移設・変更年月

移設

公園灯

ポール番号	メイン園路－5	注1
ランプ出力	HF○○W	注2
定格電圧	○○V	注3
施工	年号　年　月	注5
移設	令和　年　月	注6

帯　広　市

灯具変更

公園灯

ポール番号	メイン園路－5	注1
ランプ出力	HF○○→LED○○(変更)W	注2
定格電圧	○○V	注3
施工	令和　年　月	注5
変更	令和　年　月	注6

帯　広　市

50　保証書綴

受注者は、工事で設置した休憩、遊戯、管理、運動施設等について、製品製造業者の保証書を帯広市長あてに提出すること。なお、保証書は取りまとめのうえ、保証書綴として工事成果品として提出すること。提出日付は工事受渡日とする。

保証内容は下記を標準とし、それを下回らないものとする。なお、保証契約を証明する資料を添付すること。

① 保証期間（通常の使用状態で必要となった修理、補修の無償期間）
　・工事引渡しを行った日から2年　（但し、建築物等、設備等は1年間）
② 生産物賠償責任保険期間
　・工事引渡し後、効用持続期間
③ 生産物賠償責任保険限度額
　・1事故あたり補償限度額　対人3億円　対物1千万円　以上
　・保険期間中　通算補償限度額　対人3億円　対物1千万円　以上

51　取扱説明書

受注者は、工事で設置した休憩、遊戯、管理、運動施設等について、取扱説明書を取りまとめのうえ、工事成果品として提出すること。

~~52　諸官庁申請手続き報告書~~

電気設備及び給排水設備等の設置にあたり行った申請手続きについて、申請書の写し及び許可書を諸官庁申請手続き報告書として提出すること。

53　公園台帳

公園台帳は以下の調書等により構成するものとし、別紙作成例を参照し作成のうえ、工事成果品として電子データとともに提出すること。なお、図面はA4版とし、写真にあっては公園全景（異なる方向から撮影した2葉以上となっても可）が確認できるものとする。

また、同一現場で複数の業者（公園本体、建築、電気、上下水道設備）が重なる場合については、本工事の受注者が作成すること。

- ・都市公園台帳
- ・公園施設現況調書
- ・都市公園台帳図
- ~~・樹種別樹木現況調書~~
- ・公園用地敷地図
- ・敷地現況調書
- ~~・休憩施設調書（四阿、ベンチ、テーブル等）~~
- ~~・遊戯施設調書（すべり台、ブランコ、複合遊具等）~~
- ・管理施設調書（車止め、フェンス、門柱等）
- ~~・便益施設調書（水飲み台、トイレ等）~~
- ~~・照明灯管理台帳~~
- ~~・ライフサイクルコスト調書~~

~~54　生コンクリート~~

本工事で使用する生コンクリートの種類、用途を下記に示す。

該当項目	配合	設計基準強度	粗骨材の最大寸法	スランプ	空気量	水セメント比の限界	最低単位セメント量	セメント種類	混和材	冬期養生	構造物
□	C-1	土木工事共通仕様書参照						混B　普通　早強	□ＡＥ減水剤 □Ａ　Ｅ　剤	有 無	均しコンクリート
□	C-4	土木工事共通仕様書参照						混B　普通　早強	□ＡＥ減水剤 □Ａ　Ｅ　剤	有 無	内陸部の無筋構造物
□	C-10	土木工事共通仕様書参照						混B　普通　早強	□ＡＥ減水剤 □Ａ　Ｅ　剤	有 無	胴込・裏込コンクリート
□	ＲＣ-1	土木工事共通仕様書参照						混B　普通　早強	□ＡＥ減水剤 □Ａ　Ｅ　剤	有 無	

55　週休2日工事の実施について

(1) 本工事は、「週休２日工事」の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休２日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
(2) 受注者は、月単位の週休２日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休２日による施工を行うこととする。なお、月単位の週休２日が達成できない場合においても、通期の週休２日による施工に努めること。
(3) 月単位の週休２日とは、対象期間の全ての月において、４週８休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が２８．５％（８日／２８日）以上の水準に達する状態）の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が２８．５％に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。
　通期の週休２日とは、対象期間の現場閉所率が２８．５％（８日／２８日）以上の水準に達する状態をいう。
　対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始６日間、夏期休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。
　契約後、週休２日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
(4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
(5) 週休２日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休２日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
(6) 週休２日の実施の確認方法は、次によるものとする。
　１）受注者は、週休２日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
　２）受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
(7) 発注者が必要に応じ週休２日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
(8) 受注者が月単位の週休２日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、月単位の週休２日に満たない場合は、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率及び現場管理費率の補正について、通期の週休２日の補正係数に変更するものとし、通期の週休２日に満たないものは、補正係数を乗じない。また、市場単価についても月単位の週休２日に満たない場合は設計変更を行う。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
(9) 「週休２日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
(10) 週休２日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
(11) その他の事項については、帯広市週休２日工事実施要領によるものとする。

56　その他

(1)　支障物件等については事前に協議を行っているが、施工前に必ず所有者にその取り扱いについて確認すること。
(2)　施工箇所に建築物等が近接している場合は、所有者と起工測量時に建築物等の状況を確認し、立会確認書を作成すること。
(3)　設計図書と現場の状況等が異なる場合は、工事施工協議簿を交わさない限り工事に着手してはならない。

施　工　計　画　書

令和　　年　　月　　日

帯広市長　米沢則寿　様

受注者　住所

氏名

工事名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

１．工事概要
２．計画工程表
３．現場組織表
４．指定機械
５．主要資材
６．施工方法
７．施工管理計画
８．緊急時の体制及び対応
９．安全管理
10．交通管理
11．環境対策
12．現場作業環境の整備
13．建設副産物の適正処理計画
14．再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書
15．社内検査
16．その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和　　年　　月　　日

監督員職氏名

課　長	課長補佐	係　長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

園路を
造っています。

令和　○　年　○　月　○　日まで
時間帯　○○:○○～○○:○○

帯広の森園路整備工事(西11～12号間)

工事名を標示する

発注者　帯広市都市環境部みどりの課
電　話　0155-24-4111(代表)
　　0155-65-4187(直通)

施工者　○○○○建設株式会社
電　話　○○○○-○○-○○○○

お 願 い

公園工事のためご迷惑をお掛けしますが、よろしく御協力願います。

なお、お気付きの点は係員にお申し出下さい。

発注者　帯広市都市環境部みどりの課
電　話　0155-24-4111(代表)
　　0155-65-4187(直通)

施工者　○○○○建設株式会社
電　話　○○○○-○○-○○○○

注　：　現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等がない場合は、施工会社のみの記載とする。

詳細は、北海道建設部土木工事共通仕様書による。

市街地については１／２サイズも設置可能とする。

工　事　施　工　協　議　簿

（第　　回）

工 事 名	
件名	
内容	
☐ 添 付 資 料 名	

【工事監督員】　　令和　　年　　月　　日

上記事項について　☐ 指示、　☐ 承諾、　☐ 協議、　☐ 通知、　☐ 受理　　する。

☐ 工事内容の変更の対象と　　☐ しない。

☐ する。 ただし、詳細については別途指示する。

☐ 工事内容の変更の対象とするか、後日指示する。

☐ 特記事項

【受 注 者】　　令和　　年　　月　　日

上記事項について　☐ 了解しました。　☐ 承諾願います。

☐ 協議、　☐ 提出、　☐ 報告　します。

☐ 特記事項

請負代金額	累計増減額	合計見込額	備考
千円	千円	千円	

確認欄	部長	参事	室長	課長	課長補佐	係長	主査	係	監督員	主任技術者	現場代理人

注：該当する☐に✓を記入すること。

「内容」について、記載欄が不足する場合は別紙への記載を可能とする。

課　長	課長補佐	係　長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

履 行 報 告 書

工事名			
工　期	令和　　年　　月　　日　から　令和　　年　　月　　日 まで		
日　付	令和　　年　　月　　日　　（　　月分）		
月　別	予定工程　　％ （　　）は工程変更後	実施工程　％	備　　考
（記事欄）			

（作成上の注意）

1　報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。

2　予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。

3　実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。

4　計画と実施（赤色）を対比した工程表を添付すること。

令和　　年　月　日

監督員

様

（受注者名）

現場代理人

段　階　確　認　願（第　　回）

下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工事名			実施希望日	令和　　年　月　日		
工　種	細　目　等	品 質 規 格	区　域　等	数 量 等	呼　称	備　考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

監督員

実施日時	令和　　年　　月　　日　　時から	実施者名	
実施場所	□工事現場、□製作工場、□（実施場所）		
実施方法	□臨　　場、□机　　上、		
必要書類	□設計図書、□測量結果、□出来形図等、□品質規格証明等 □施工管理記録、□写真、□（その他必要書類等）		
特記事項			

令和　　年　　月　　日　の段階確認の結果、設計図書のとおり施工されて

□いる。　　□いない。　　□詳細については、別途指示する。

令和　　年　月　日

監督員

（主　　旨）

本様式は、受注者が段階確認を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

（作成上の注意）

該当する□内にレを記入すること。

工 事 材 料 品 質 確 認 願

令和　　年　　月　　日

帯広市長　米沢則寿　様

受注者　住 所

氏 名

工 事 名

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和　　年　　月　　日

監督員職氏名

課 長	課長補佐	係　長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

（別　紙）

令和　　年　　月　　日

（受注者）　　様

（住　所）
（再資源化施設名）　　印

再生骨材の出荷確認について（回答）

令和　　年　　月　　日に貴社より依頼のありましたこのことについて、次のとおり回答します。

記

１　工事名

２　出荷できる再生骨材の規格、出荷可能数量及び出荷時期

規　　格	出荷可能数量（㎥）	出荷時期	備　　考

（別紙）

建設発生土受入契約書

工　事　名	※工事請負契約書に記載されている工事名
発注者名称	帯広市
排出場所	※工事請負契約書に記載されている工事場所
受入場所	※特記仕様書に記載されている場所
受入数量	※設計数量　〇〇〇 m3
受　入　費	〇〇〇円/m3
受入期間	令和　　年　　月　　日　から　令和　　年　　月　　日
支払期限	請求書を受理した日から３０日以内

上記について、建設発生土の受入者（以下「甲」という。）と建設発生土の搬入者（以下「乙」という。）は、建設発生土の受入に関し、次のとおり契約を締結し、この契約の締結を証するため本契約書２通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自その１通を保有するものとする。

令和　　年　　月　　日

甲　住　所

名　称

代表者　　㊞

乙　住　所

名　称

代表者　　㊞

工事請負契

（別紙）

令和　　年　　月　　日

建設発生土受入証明書

搬入業者　　様

受入者　　住　所
氏　名

建設発生土の受入について、下記のとおりであることを証明いたします。

工　事　名　　〇〇公園整備工事
受 入 数 量　　〇〇〇m3
受入完了日　　令和　　年　　月　　日

上記の建設発生土の受入について確認しました。
令和　　年　　月　　日
監督員職氏名

〈施工計画書例〉

指 定 機 械 一 覧

機　　種	規　格	台 数	使　用　工　種	排出ガス対策	メーカー
			（記入例） 土砂掘削 岩盤掘削 法面整形 路盤工締固め	（記入例） 第○次基準排対 浄化装置付 非排対	

〈理由書例〉

排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和　　年　　月　　日

（監督員）　　様

（受注者名）

<table>
<tr><td>工　事　名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>現場代理人名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>機　械　名</td><td></td><td>規　　格</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">当該工事で使用できない理由
（例）　自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため</td></tr>
<tr><td colspan="4">今後の使用方針
（例）　資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定（１年後を予定）</td></tr>
<tr><td>機　械　名</td><td></td><td>規　　格</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">当該工事で使用できない理由
（例）　自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため</td></tr>
<tr><td colspan="4">今後の使用方針
（例）　自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、
装着する予定</td></tr>
</table>

送電線路付近工事協議書

発行　　月　　日

工事件名		打合せ日	令和　　年　　月　　日
工期	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日		
現場住所			
送電線名	（電圧　　kV）	支持物No	
施工会社名		工事担当者	
連絡先	事業所 TEL	現場事務所 TEL	
発注元	担当者	TEL	
協議出席者 氏名	（施工側） （北電側）	協議場所	北海道電力ネットワーク㈱　帯広支店 配電部配電グループ　0155-24-6585

協議内容

《終了確認》

各　　長	担当

《協議確認》

各　　長	担当	協議者

別記様式

技 能 士 活 用 状 況 報 告 書
（予　定・実　績）

※予定・実績のどちらかに〇をつけること。

令和　　年　　月　　日

帯広市長　米沢則寿　　様

受注者 住 所

氏 名

1　工事名等

工　事　番　号		工　事　箇　所		請　負　代　金　額	
工　　事　　名					

2　技能士活用状況等

工　事　種　別			技 能 士 検 定 職 種	予　定				実　績						
				技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名（1名）及び技能士数			当該工事に従事した労働者数（実人員）						
工　種		該当の有無			級別	氏　名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外	計
								特級	1級	2級	左以外の級		
1	地盤改良（ウエルポイント）工		ウエルポイント施工				人	人	人	人	人	人	0　人
2	コンクリート工		型枠施工				人	人	人	人	人	人	0　人
3			コンクリート圧送施工(注)				人	人	人	人	人	人	0　人
4			鉄筋施工				人	人	人	人	人	人	0　人
5	積ブロック工		コンクリート積みブロック施工				人	人	人	人	人	人	0　人
6	さく井工		さく井				人	人	人	人	人	人	0　人
7	コンクリート補修工		樹脂接着剤注入施工				人	人	人	人	人	人	0　人
8	石積み工		石材施工				人	人	人	人	人	人	0　人
9	植栽工		造園(注)				人	人	人	人	人	人	0　人
10	塗装工		塗装(注)				人	人	人	人	人	人	0　人
11	とび工		とび				人	人	人	人	人	人	0　人
12	防水工		防水施工				人	人	人	人	人	人	0　人
13	区画線工		路面標示施工(注)				人	人	人	人	人	人	0　人
14	上記以外の工種						人	人	人	人	人	人	0　人
合　計							0　人	0　人	0　人	0　人	0　人	0　人	0　人

注　「コンクリート圧送施工」、「造園」、「路面標示施工」、「塗装」の4職種については、平成22年4月10日以後に入札の公告等を行う工事から、土木工事における活用状況を工事施行成績評定において評価することとしています。

【予定】記載方法等

※1　当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「〇」を記載してください。
なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14　上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「〇」を記載してください。

※2　「該当の有無」欄に「〇」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「〇」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。

※3　「技能士の活用予定の有無」欄に「〇」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。
なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。

※4　「14　上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。
なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。

※5　この報告書（予定）は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

※1　この報告書（実績）は、報告書（予定）の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「〇」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。

※2　「該当の有無」欄に「〇」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員（氏名の総数）を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。
なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。

※3　この報告書（実績）は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

別記様式

留意事項（予定）

技　能　士　活　用　状　況　報　告　書
（予　定・実　績）

予定に「○」をつける

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和○○年○○月○○日

帯広市長　米沢則寿　様

契約書の内容を忘れずに

受注者 住 所 帯広市○○条○○丁目○○番地

氏 名 ○○○建設株式会社

提出年月日は必ず記載してください

1　工事名等

工　事　番　号		工　事　箇　所	帯広市○○条○○丁目	請　負　代　金　額	○○○，○○○，○○○円
工　事　名	○○公園整備工事				

2　技能士活用状況等

該当する工種があった場合は、「○」をつけてください
※技能士活用有無に関わらず、いずれかに必ず「○」がつきます

工事種別				予定				実績					
				技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名（1名）及び技能士数			当該工事に従事した労働者数（実人員）					
	工種	該当の有無	技能士検定職種		級別	氏名	左の者を含む技能士数	技能士 特級	技能士 1級	技能士 2級	技能士 左以外の級	技能士以外	計
1	地盤改良（ウエルポイント）工		ウエルポイント施工				人	人	人	人	人	人	0 人
2	コンクリート工	○	型枠施工	×			人	人	人	人	人	人	0 人
3	コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	○○ ○○	4 人	人	人	人	人	人	0 人
4	コンクリート工	○	鉄筋施工	○		未　定	6 人	人	人	人	人	人	0 人
5	積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×			人	人	人	人	人	人	0 人
6	さく井工		さく井				人	人	人	人	人	人	0 人
7	コンクリート補修工	※1	樹脂接	※2		※3	人	人	人	人	人	人	0 人
8	石積み工		石材施				人	人	人	人	人	人	0 人
9	植栽工		造園				人	人	人	人	人	人	0 人
10	塗		塗装				人	人	人	人	人	人	0 人
11	と		とび				人	人	人	人	人	人	0 人
12	防水工		防水施				人	人	人	人	人	人	0 人
13	区画線工		路面標示施工				人	人	人	人	人	人	0 人
14	上記以外の工種	○	（例）建築配管 ※4	○	2	□□ □□	2 人	人	人	人	人	人	0 人
合　計							12 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

技能士数は、実人員（氏名の総数）で記入願います

該当工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

「14」の記載に注意

該当工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

合計の人数が合っているか確認してください

技能士を活用しない場合、この欄は空欄とします

【予定】記載方法等
※1　当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14　上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
※2「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
※3「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。
なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
※4「14　上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。
なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
※5　この報告書（予定）は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等
※1　この報告書（実績）は、報告書（予定）の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
※2「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員（氏名の総数）を記載してください。
なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
※3　この報告書（実績）は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

記載にあたっては、※1～※4を一読願います。

別記様式

留意事項(実績)

技　能　士　活　用　状　況　報　告　書
(予　定・実　績)

実績に「○」をつける

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和○○年○○月○○日

帯広市長　米沢則寿　様

最終実績の内容を忘れずに記入してください。

受注者 住 所 帯広市○○条○○丁目○○番地

氏 名 ○○○建設株式会社

提出年月日は必ず記載してください

1　工事名等

工　事　番　号		工　事　箇　所	帯広市○○条○○丁目	請　負　代　金　額	○○○，○○○，○○○円
工　事　名	○○公園整備工事				

2　技能士活用状況等

合計の人数が合っているか確認してください

工事種別				予定				実績											
工種		該当の有無	技能士検定職種	技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)											
					級別	氏名	左の者を含む技能士数	技能士								技能士以外		計	
								特級		1級		2級		左以外の級					
1	地盤改良(ウエルポイント)工		ウエルポイント施工				人	人		人		人		人		人		0	人
2	コンクリート工	○	型枠施工	×			人	0	人	0	人	0	人	0	人	5	人	5	人
3	コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	○○　○○	4 人	0	人	2	人	2	人	0	人	0	人	4	人
4	コンクリート工	○	鉄筋施工	○		未　定	6 人	0	人	2	人	1	人	1	人	2	人	6	人
5	積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×			人	0	人	0	人	0	人	0	人	0	人	0	人
6	さく井工		さく井				人		人		人		人		人		人	0	人
7	コンクリート補修工	※1	樹脂接着剤注入施工				人		人		人	※2	人		人		人	0	人
8	石積み工		石材施工				人		人		人		人		人		人	0	人
9	植栽工		造園				人		人		人		人		人		人	0	人
10	塗装工		塗装				人		人		人		人		人		人	0	人
11	とび工		とび												人		人	0	人
12	防水工		防水施工				人		人		人		人		人		人	0	人
13	区画線工		路面標示施工				人		人		人		人		人		人	0	人
14	上記以外の工種	○		×			人	0	人	0	人	0	人	0	人	6	人	6	人
合　計							10 人	0	人	4	人	3	人	1	人	13	人	21	人

人数は、延べ人数ではなく、『氏名の総数』を記載します

主査技能士以外の労働者数も記載が必要です

【予定】記載方法等
※1　当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は　当する工事種別の「該当の有無」
　なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当す　以外の工種がある場合は、「14　」欄に「○」を記載してください。
※2「該当の有無」欄に「○」を　した工事種別については、「技能　技能士を活用する　士を活用する予定が無い場合は
※3「技能士の活用予定　た工種について　能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してく
　なお、技能士の氏名　「未定」と記載してください。
※4「14　上記以外の工種　事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技　※
　3と同様に記載してく
　なお、複数の職種が　を追加して記載してください。
※5　この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

設計変更等で工種が増えた場合のみ「○」を追加します(工種が減の場合は

予定の記載内容は変更しない

合計の人数が合っているか確認してください

記載にあたっては、※1～※2を一読願います。

【実績】記載方法等
※1　この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
※2「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。
　なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
※3　この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

社 内 完 成 検 査 報 告 書

令和　　年　　月　　日

帯広市長　米沢則寿　様

受注者　　住　所

氏　名

工事名

上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検 査 年 月 日　　令和　　年　　月　　日

検査員職氏名

立 会 人 氏 名

令和　　年　　月　　日

借　　受　　書

帯広市長　米沢則寿　様

受注者　　住　所
氏　名

下記のとおり図書等について借受けました。

工　事　名　　〇〇公園整備工事
借 受 場 所　　帯広市都市環境部環境室みどりの課
借 受 期 間　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日
返納予定日　　令和　　年　　月　　日

借受品明細

品　　目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

注意事項

・帯広市個人情報保護条例第４条に基づき、借受品に含まれる個人情報が、借受者以外の第三者に漏洩することがないように、取扱いには十分注意すること。
・借受期間中に、物品の紛失、損傷、汚損等が発生した場合は、借受者の責任において復元すること。
・借受品の転貸は絶対にしないこと。

上記の図書等の貸出しについて確認しました。
令和　　年　　月　　日
監督員職氏名

令和　　年　　月　　日

返　　納　　書

帯広市長　米沢則寿　様

受注者　　住　所
　　氏　名

下記のとおり図書等について返納いたします。

工　事　名　　〇〇公園整備工事
返 納 場 所　　帯広市都市環境部環境室みどりの課
借 受 期 間　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日
返納予定日　　令和　　年　　月　　日

借受品明細

品　　目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

上記の図書等の返納について確認しました。
令和　　年　　月　　日
監督員職氏名

令和　　年　　月　　日

産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表

受注者 住　所
氏　名

産廃種類：　　工事名：

番号	搬出日	運搬業者名 運転者名	運搬車両 車両番号	積載可能重量	搬出先 （処分業者名）	処分量	累計処分量	備考
1	R1.10.31	㈱○○興業 ○△	1234	10t	□□工業	10.00 t	10.00 t	

実　施　数　量　（　合　計　）	0.00 t	
設　計　数　量　（　合　計　）	9.00 t	
差	-9.00 t	0%

課　長	課長補佐	係　長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

施　工　体　制　報　告　書

令和　　年　　月　　日

帯広市長　米　沢　　則　寿　　様

受注者　住所

氏名

工　事　名

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

枝と幹の搬入について

帯広市都市環境部環境室みどりの課

1　事業概要

搬入対象及び規格に記載の枝と幹を、畜産事業者へ売払います。枝と幹は破砕機でチップ化し、牛舎の敷料として利用後に堆肥化することで、枝と幹の全量を再利用し、木質バイオマス利用と地域内循環を進めるものです。

事業者　株式会社帯広有機
所在　　帯広市美栄町西７線 108 番地１
電話　　0155-33-6511（Fax 兼）

2　搬入対象及び規格

市有緑地等から公共事業により発生したせん定、伐採材で次のもの（樹種は不問）

・枝（葉付き搬入可）
・幹（長さ２m 以下、直径 30ｃm以下）

※令和５年度から追加

3　搬入場所

西 24 条南５丁目（別紙「枝と幹の搬入位置図」参照）

4　搬入時間

８時から 16 時まで
（土日も搬入可能です。時間外での搬入希望は、別途事業者と相談してください。）

5　搬入方法

・別紙「枝と幹の搬入位置図」のうち、搬入場所①-１へ直接搬入してください。
・①-１が使用不可の場合、事業者へ連絡の上、①-２もしくは②へ搬入してください。

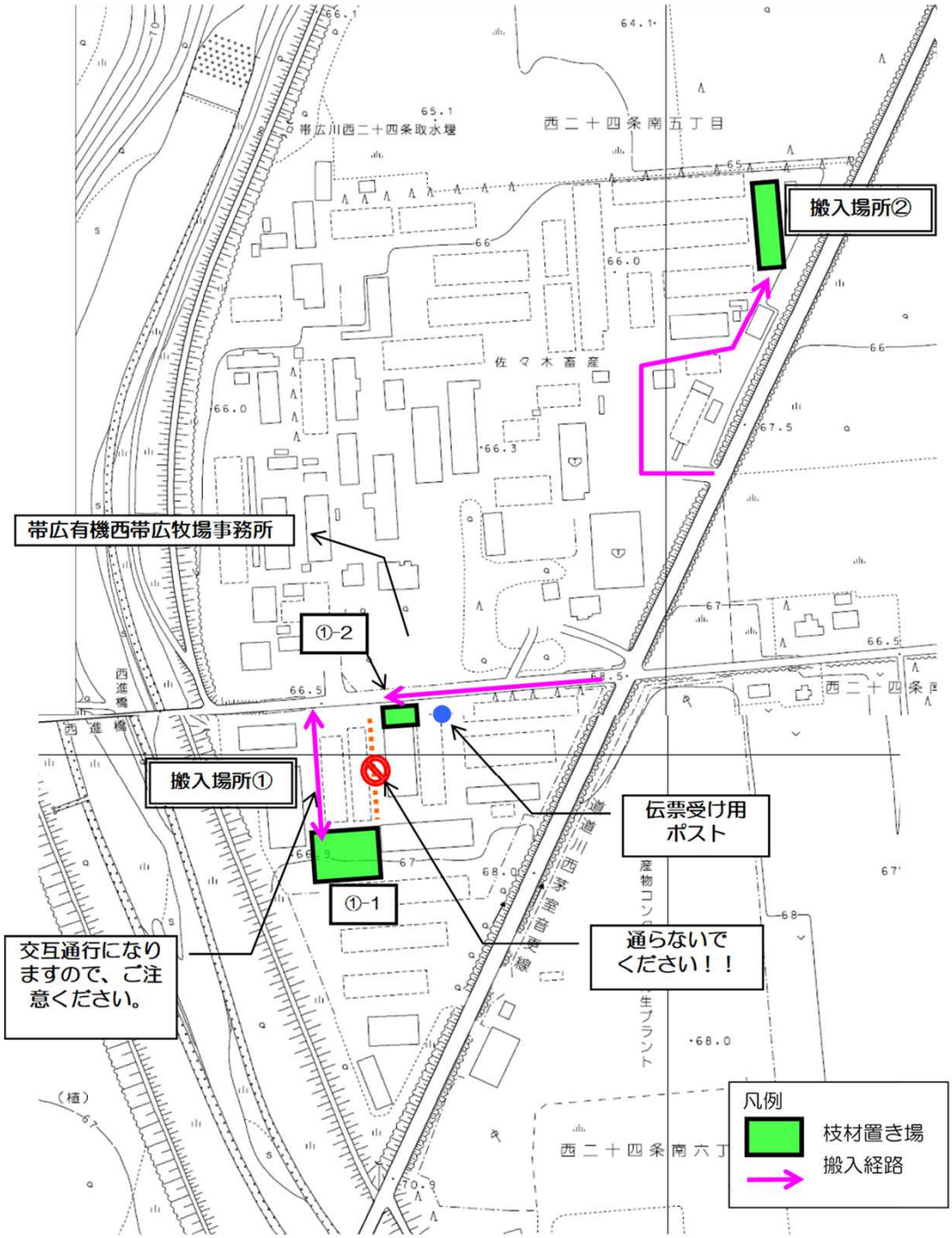
6　報告

・別紙「伐採枝・幹搬入伝票」に、搬入数量等を記載してください。
・伝票は同内容で２枚作成し、片方（投函用）は枝と幹の搬入時に、搬入場所のポストに投函してください。もう片方（控え）は、翌月の５日（ただし、３月は末日）までにみどりの課へ提出してください。

【留意事項】

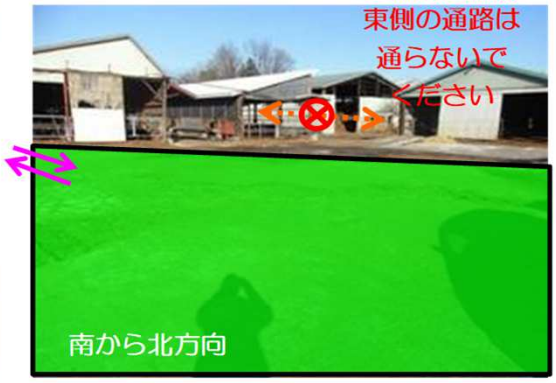
・金属、プラスチック、抜根等、木材以外の異物は必ず取り除いてください。
・搬入場所は牛舎に近接している箇所もあることから、家畜との接触等のないよう注意して下さい。急発進・急停止等の危険運転は行わないで下さい。
・伐採枝・幹搬入伝票は、売払金額の確定に必要ですので、必ず投函用と控えの両方を作成及び提出してください。

搬入場所概要


搬入場所②
帯広有機西帯広牧場事務所
①-2
搬入場所①
①-1
伝票受け用
ポスト
通らないで
ください！！
交互通行になり
ますので、ご注
意ください。
凡例
枝材置き場
搬入経路

搬入場所写真

搬入場所①-１



搬入場所①-２

搬入場所②

帯広有機西帯広牧場　ポスト投函用

伐採枝搬入伝票

搬入事業者

搬　入　者

車　　番

工事（委託）発注課

工事名（委託名）

搬入年月日

平成　　年　　月　　日

搬　入　先

（株）帯広有機西帯広牧場

搬入時刻	樹種	数量（㎥）	備考

この伝票には搬入日の一日分の内容を記入し、その日最後の搬入時に投函してください。

※伐採枝の搬入はモデル事業で実施しているものであり、市有地及び市の公共事業で出た伐採枝のみが対象となるものです。

切り取り

帯広市みどりの課　提出用

伐採枝搬入伝票（控）

搬入事業者

搬　入　者

車　　番

工事（委託）発注課

工事名（委託名）

搬入年月日

平成　　年　　月　　日

搬　入　先

（株）帯広有機西帯広牧場

搬入時刻	樹種	数量（㎥）	備考

本紙（控え）にも同内容を記入し、月ごとにまとめて、必ず翌月７日までに帯広市都市建設部みどりの課みどりと花の係まで届けてください。

（工事等発注課を経由してもかまいません）

幹材の搬入について

帯広市都市環境部環境室みどりの課

1　事業概要

市有緑地等から公共事業により発生した幹材について、樹種ごとに堆積したものを地域業者に売払うことで、木質資源の地域内利用を進めるものです。

2　搬入対象

市有緑地等から公共事業により発生した伐採材で、直径 10cm 以上のもの

3　搬入場所

帯広の森ヤード（西 22 南 5）内　（別紙「幹材搬入位置図」参照）

※入口は施錠しているので、当課から鍵を借用の上、搬入を行ってください。

4　搬入時間

常時搬入可能（土日含む）

5　樹種及び規格

・幹材を搬入する際は、広葉樹、針葉樹、落葉松（カラマツ）に分別してください。

・1 本の丸太になるよう、長さ 2.1m に切り揃えてください。

6　搬入方法

・別紙「幹材搬入位置図」のとおり、樹種ごとに高さ 1.5～2.0m程度に平積みしてください。

・搬入場所に堆積済の材がある場合は、その上に積み上げてください（高さ 2.0m 程度まで）。

7　報告

・搬入の都度、別紙「幹材搬入伝票兼材積表」にて報告してください。

・幹材の直径は、末口（細い側（立木時に天を向く側）の切り口）の直径を計測してください。
※直径は、10cm から 14cm までは 1cm 刻みで、14cm 以上は 2cm 刻みで記録してください。端数ある時は、切り上げてください（例、実測値 φ21.3cm　→　φ22cm）。

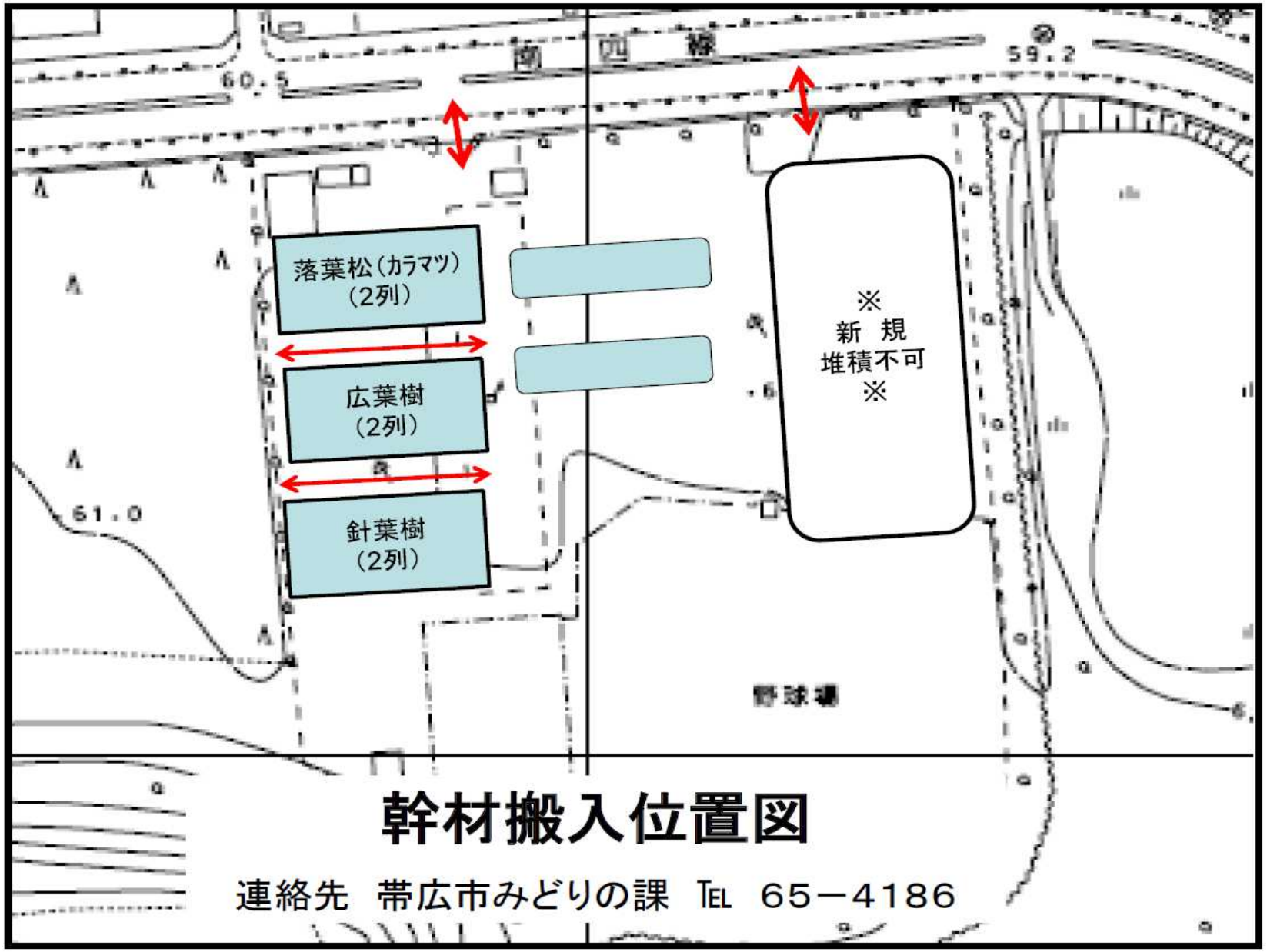
【留意事項】

・金属、土砂、プラスチック（ナンバーテープ、ピンクテープ等）など、木材以外の異物は取り除いてください。

・幹材搬入伝票兼材積表は、売払数量の算出時に必要となりますので、必ず提出してください。

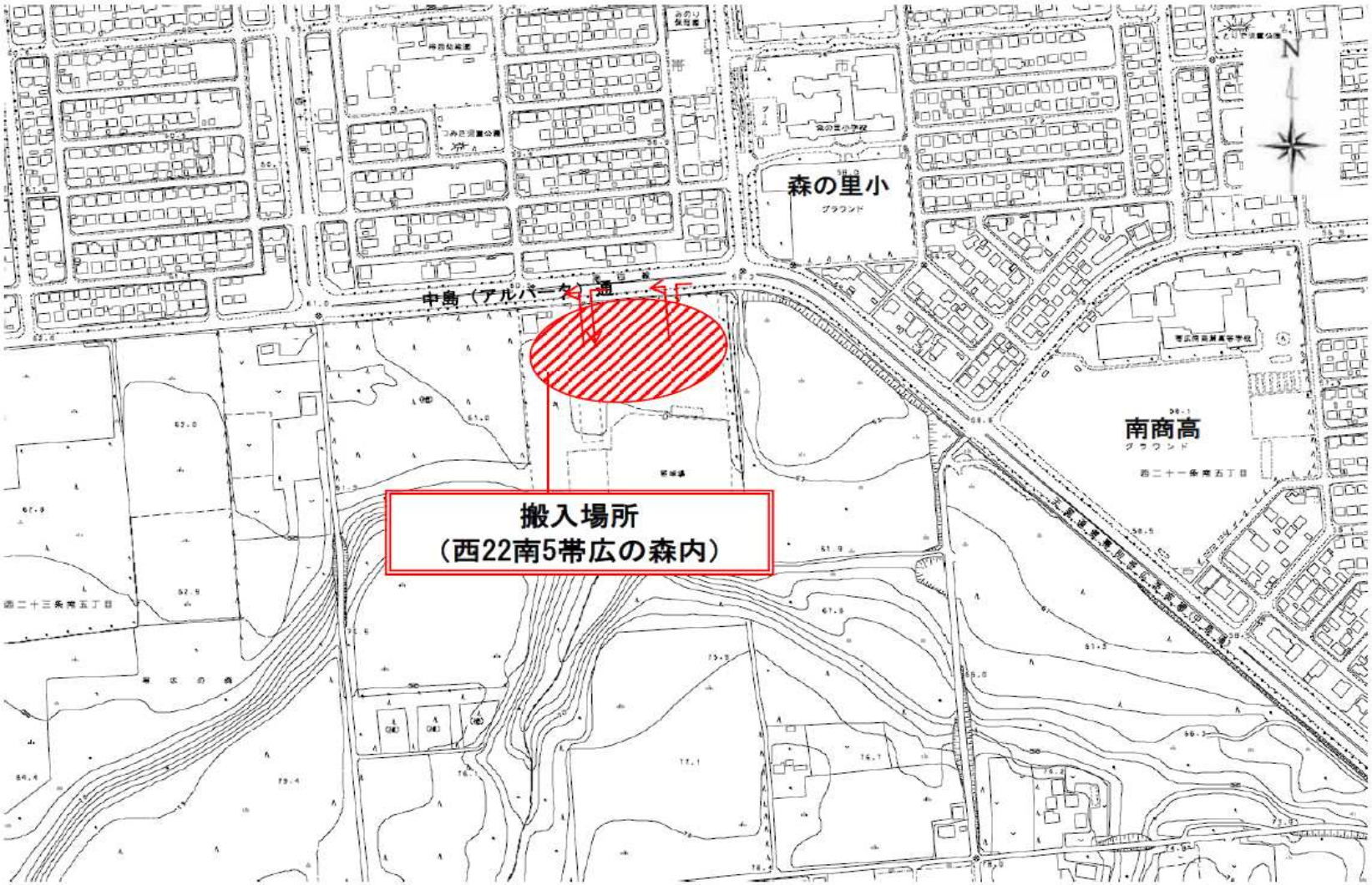
※以下のような場合は、搬入前にご相談ください。

・補助事業から発生する幹材を搬入する場合。（売払収入の返還が必要です）
・事業担当課で独自に売払いを予定しているが、自課の堆積場がない場合。
・事業担当課の歳入としたいが、事業担当課で売払いできない場合。



幹材搬入位置図

連絡先　帯広市みどりの課　TEL　65－4186



市有緑地等伐採材　搬入場所　位置図

幹材搬入伝票

搬入事業者

搬入者

工事（委託）発注課

工事名（委託業務名）

搬入年月日

令和　　年　　月　　日～ 令和　　年　　月　　日

搬入数量表		
樹種	末口直径（ｃｍ）	数量（本数）
	合計	0 本

※欄が足りないときは適宜、追加あるいは別紙を添付してください。

搬入数量表		
樹種	末口直径（ｃｍ）	数量（本数）
	合計	0 本

幹材搬入伝票

搬入事業者

株式会社〇〇〇〇造園

搬入者

土木部　緑野　太郎　　TEL　0155 - 24 - XXXX

工事（委託）発注課

帯広市　みどりの課

工事名（委託業務名）

〇〇公園他樹木等整枝せん定伐採委託業務

搬入年月日

令和　●年　１月１３日～ 令和　●年　１月３１日

搬入数量表		
樹種	末口直径（ｃｍ）	数量（本数）
広葉樹	10	5
広葉樹	16	6
広葉樹	18	7
広葉樹	22	8
針葉樹	16	9
カラマツ	20	10
カラマツ	22	11
カラマツ	30	12
	以下余白	
	合計	68 本

※欄が足りないときは適宜、追加あるいは別紙を添付してください。

令和　　年　月　日

監督員

様

（受注者名）

現場代理人

立　　会　　願

下記項目について、立会を願います。

工　事　名	
項　　目	内　　容
希　望　日　時	

上記項目について令和　　年　　月　　日立会を実施した。

令和　　年　　月　　日

監督員職氏名

（主　　旨）

本様式は、受注者が工事監督員の立会を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

令　和　　年　　月　　日

木材及び木材加工資材等の使用状況報告書

帯広市長 米沢 則寿　　様

受注者　住　所
　　氏　名

下記の工事が完成したので、次のとおり木材の使用状況を報告します。

工 事 名	

1 木材及び木材加工資材の使用状況

木材使用工種（用途）	樹 種	木材区分・使用数量											備 考
		丸太（m3）	製材（m3）		集成材（m3）	フローリング（m2）	羽目板（m2）	合板（m2）		単板積層材（m3）	チップ（m3）	その他（単位：適宜）	
			丁張用	その他				型枠用	その他				

記載要領
1 木材及び木材加工資材等を購入して使用した工種（用途）毎工種、木材区分、使用数量を記入すること。
（工事標識、丁張、現場事務所等の仮設で使用したすべての木材及び木材加工資材についても記入すること。）
2 木材使用工種（用途）には、木工沈床・段柵工・木製看板・ベンチ・型枠・丁張等の木材を購入して使用した工種を記入すること。
3 樹種には、カラマツ・その他針葉樹（カラマツ以外）・広葉樹等の該当工種に使用した木材の樹種を記入すること。
4 木材使用工種毎に該当する木材区分の欄に使用数量を小数点以下第2位を四捨五入して第1位で記入すること。
5 木材区分・使用数量の「その他」の欄には、他の項目にあてはまらない木材の数量を記入するとともに、備考欄にその内容を記入すること。

2 工事現場等での木質バイオマスの利用状況

木質バイオマスの利用	ペレットストーブ			バイオトイレ			その他（　　）			備　　考
	利用数（台）	メーカー名	型番（型式）	利用数（台）	メーカー名	型番（型式）	利用数（台）	メーカー名	型番（型式）	

記載要領
1 工事現場等（現場事務所、休憩所、仮設宿舎等を含む。）における木質バイオマスの利用状況を記入すること。
2 木質バイオマスの利用とは、主に木質ペレットストーブ、オガ粉を使用したバイオトイレ等を利用を言う。

（注）
1 この報告書は、完成届に添えて提出してください。
2 木材等の使用のない場合及び木質バイオマスの利用がない場合でも、その旨を報告して下さい。

公園一覧表整理番号及び
公園緑地図箇所番号

設置公示行為の日付、番号
（設置又は翌年3月31日）

市　公　園　台　帳

都市計画決定番号を記入
（事務事業資料参照）

例

台帳番号	630	公園名	光　南　緑　地	都市緑地	公園管理者	帯広市	公園コード	2・2・630	図面対照番号	
都市名	帯　広　市	位　置	帯広市東6条南19丁目～東9条南19丁目	A	土地の沿革	平成9年10月15日　土地開発公社が1.92㌶の用地を占行取得する。 平成13年度より公園整備事業により市が用地買戻しをはじめ、平成16年度に用地の買戻しを完了。				
設置年月日	平成18年3 月31日	設置公示番号		公園予定地決定内容						

都市計画公園名を記入

区分 / 項目	計画決定				事業決定			
	決定	変更	変更	変更	決定	決定	変更	変更
告示年月日	平成12年5月22日	平成14年3月26日						
告示番号	市告示 第150号	市告示 第87号						
面積　国有地								
面積　道有地								
面積　市有地	2,206 ㎡							
面積　民有地								
面積　計	2,206 ㎡							
面積　要買収面積								
執行年度割								
変更内容								

土地の経緯、史跡、名称の由来等の当該公園のあらましを記入

計画決定告示行為の日付、番号

事業認定日を記入

様式のみ作成
（内容は発注者で記入）

告示日

当初完成年月日（供用開始年月日）	開設面積（㎡）					要買収面積	事業主体	公園内の事故及び起訴に関する概要
	国有地	道有地	市有地	民有地	合計			
平成　年　月　日（新規のみ）			㎡		㎡			
項目　年月日	H17年9月30日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	
建蔽率（%）								
運動施設面積比（%）								
緑被面積（㎡）	3,192	㎡						
高木本数（本）	37	本						

公園施設現況調書より
建物総面積÷公園敷地面積×１００

樹種別樹木現況調書より転記

重要施設の概要	占用物件等の概要	有料施設の概要	維持管理に参加している団体の概要	その他特記すべき事項

維持管理団体が決定している場合は記入

字名	地番	地目	地積	取得年月日	旧所有者		取得区分	取得金額	所在地区分	備考
					所有者	住所				

筆数が多く書ききれない場合は
敷地現況調書に記入

特記事項を記入

公園施設現況調書

公園コード	2･2･630	公園名	光緑緑地

図面番号と合致すること

対図番号	設置区分	施設区分	施設名	受渡年月日	数量等	構造規模	敷地面積	建物面積	延べ面積	占用・兼用・特許・有料施設内訳 許可の種類	許可を受けている名称	管理委託先	料金	利用者数	年間収入	年間管理費	収支
1		休養	背なしベンチ	H19.11.30	1 基	木製 L=1.8m											
2		〃	サークルベンチ	〃	1 基	木製 φ=2.5m											
3		〃	シェルター	〃	1 基	FRP製屋根 鋼製支柱 木製ベンチ		0.49 ㎡									
4		遊戯	コンビネーション遊具	〃	1 基	木製 すべり台 プランコ タイヤブランコ 他											
5		〃	砂場	〃	1 箇所	17.5㎡											
6		〃	鉄棒	〃	1 基	既存施設の移設 (リフレッシュ)											
7		〃	バスケットコール	〃	1 基	ミニバスケット用											
8		〃	スプリングー遊具	〃	2 基	鋳鉄製(白馬・ポニー)											
9		〃	築山	〃	1 箇所	H=2.5m											
10		運動	バックネット	既存	1 基	H=2.5m L=10.0m											
11		便益	水飲場	H19.11.10	1 基	身障者対応											
12		〃	便所	〃	1 棟	身障者対応 木造モルタル 時計付き		7.3 ㎡									
13		管理	車止め	H19.11.20	1 基	木製 H=0.8m											
14		〃	園名板	〃	1 基	木製 H=1.8m											
~~15~~		~~〃~~	~~木柵~~	~~〃~~	~~136 m~~	~~木製 H=0.5m~~				○○工事にて撤去							
16		〃	照明灯	〃	1 基	高圧NH 200V-220W (シングル)											
17		広場	運動グラウンド	H25.10.30	1,210 ㎡	ダスト舗装				○○工事にて撤去							
18		〃	インターロッキング	〃	16 ㎡	ブロック舗装											
19		〃	芝生	〃	830 ㎡												

工事受渡日を記入

具体的に記入

都市計画決定番号を記入
（事務事業資料参照）

都市計画公園名を記入

建築確認ー計画通知に基づき記入

撤去したものについて、取り消し線を引き、工事名を記入

都市公園法施設区分を記入

新たに設置したものは、網掛けし、工事名を記入

例

樹種別樹木現況調書

調査は既存樹木も対象とし行う

公園コード	2・2・630	公園名	光緑緑地

調査時本数(平成19年11月30日現在)				令和　年　月　日現在		令和　年　月　日現在		令和　年　月　日現在		令和　年　月　日現在		令和　年　月　日現在		令和　年　月　日現在	
対図番号	樹種	高・低木区分	本数	枯損補植	現存数	枯損補植	現存数	枯損補植	現存数	枯損補植	現存数	枯損補植	現存数	枯損補植	現存数
	カラマツ	高	1 本												
	ハンクスマツ	〃	48 本												
	シラカハ	〃	56 本												
	エゾヤマザクラ	〃	8 本												
	イチイ	〃	53 本												
	ヤマモニシ	〃	6 本												
	エゾノコリンゴ	〃	1 本												
	ハルニレ	〃	1 本												
	エゾムラサキツツシ	低	45 本												
	ヨトカワツツシ	〃	32 本												
	キレンケツツシ	〃	20 本												
	カハレンケツツシ	〃	20 本												
	合計		291 本												
	高木		(174) 本												
	芝生面積		830 ㎡												
	緑被面積		2,687 ㎡												

調査実施年月日を記

成木となったとき、4m以上の樹高になるものを高木とし、他を低木とする

都市計画決定番号を記入（事務事業資料参照）

都市計画公園名を記入

高木の合計を()書き

芝生地面積を記入

緑被面積を算定し記入
（例）
高木　1本当10㎡×174本＝1，740㎡
低木　1本当　1㎡×117本＝　117㎡
芝生　1㎡当　1㎡×830㎡＝　830㎡

合計　2，687㎡

例

敷地現況調書

公園コード	2･2･630	公園名	光緑緑地	開設･未開設区分	

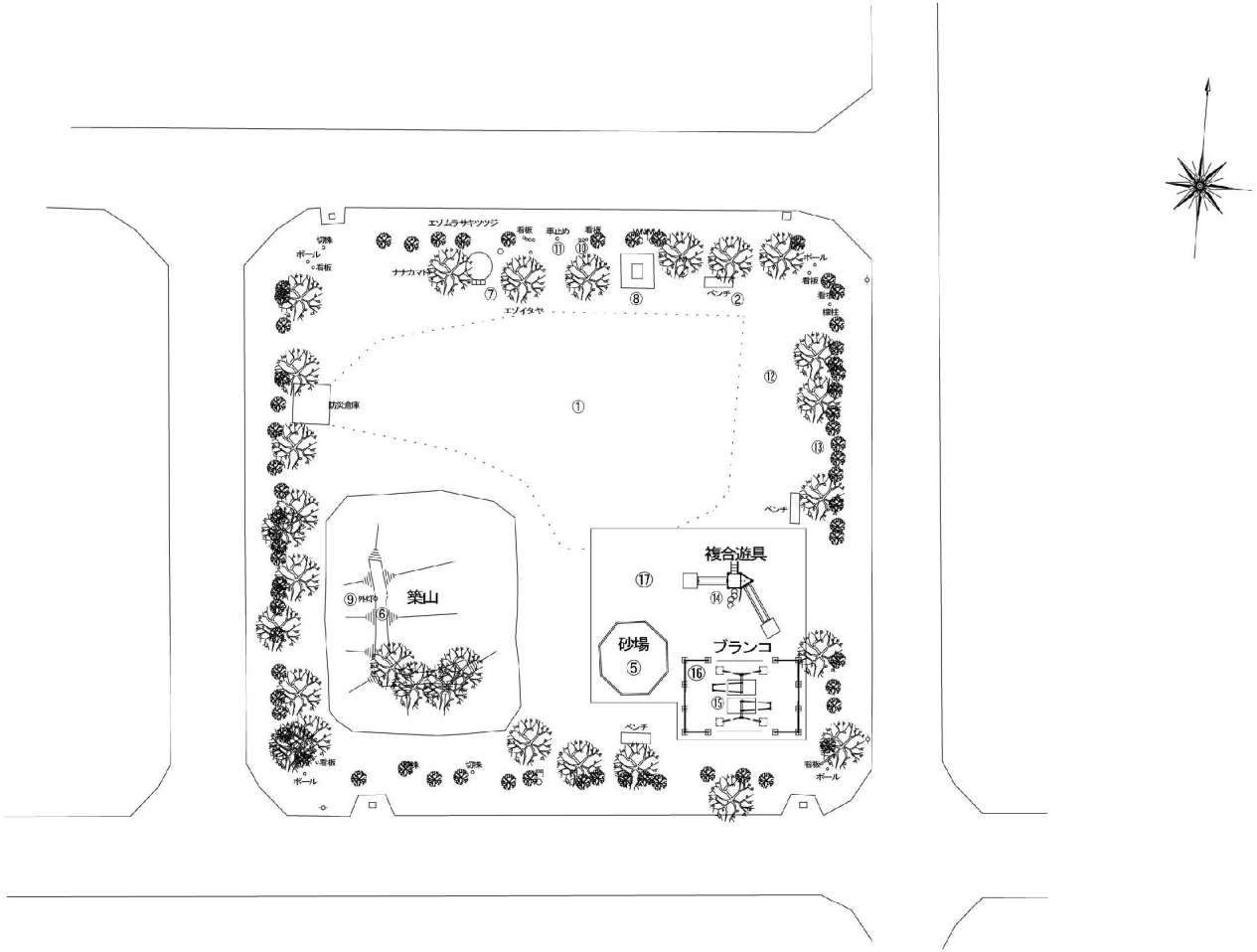
字名	地番	地目	地積	取得年月日	旧所有者		取得区分	取得金額	所在地区分	備考
					所有者名	住所				
帯広市東4条南17丁目	23-2	雑種地	665	H19.7.20	帯広市土地開発公社		公共買収	5,967,020		
帯広市東5条南17丁目	5	〃	1,664	H19.7.20	帯広市土地開発公社		公共買収	14,928,430		
帯広市東4条南18丁目	6	〃	1,590	H19.7.20	帯広市土地開発公社		公共買収	14,262,025		
帯広市東6条南18丁目	8-1	〃	2,229	H19.7.20	帯広市土地開発公社		公共買収	7,342,525		
帯広市東6条南18丁目	8-1	〃	1,410	H19.8.27	帯広市土地開発公社		公共買収	12,753,890		
帯広市東6条南19丁目	4-1	〃	1,003	H19.8.27	帯広市土地開発公社		公共買収	9,075,620		
帯広市東7条南19丁目	5-1	〃	2,017	H19.8.27	帯広市土地開発公社		公共買収	18,243,670		
帯広市東7条南19丁目	5-2	〃	966	H19.8.27	帯広市土地開発公社		公共買収	8,737,410		
帯広市東8条南19丁目	3-2	〃	242	H19.8.27	帯広市土地開発公社		公共買収	2,189,410		

例

例

都市公園台帳図

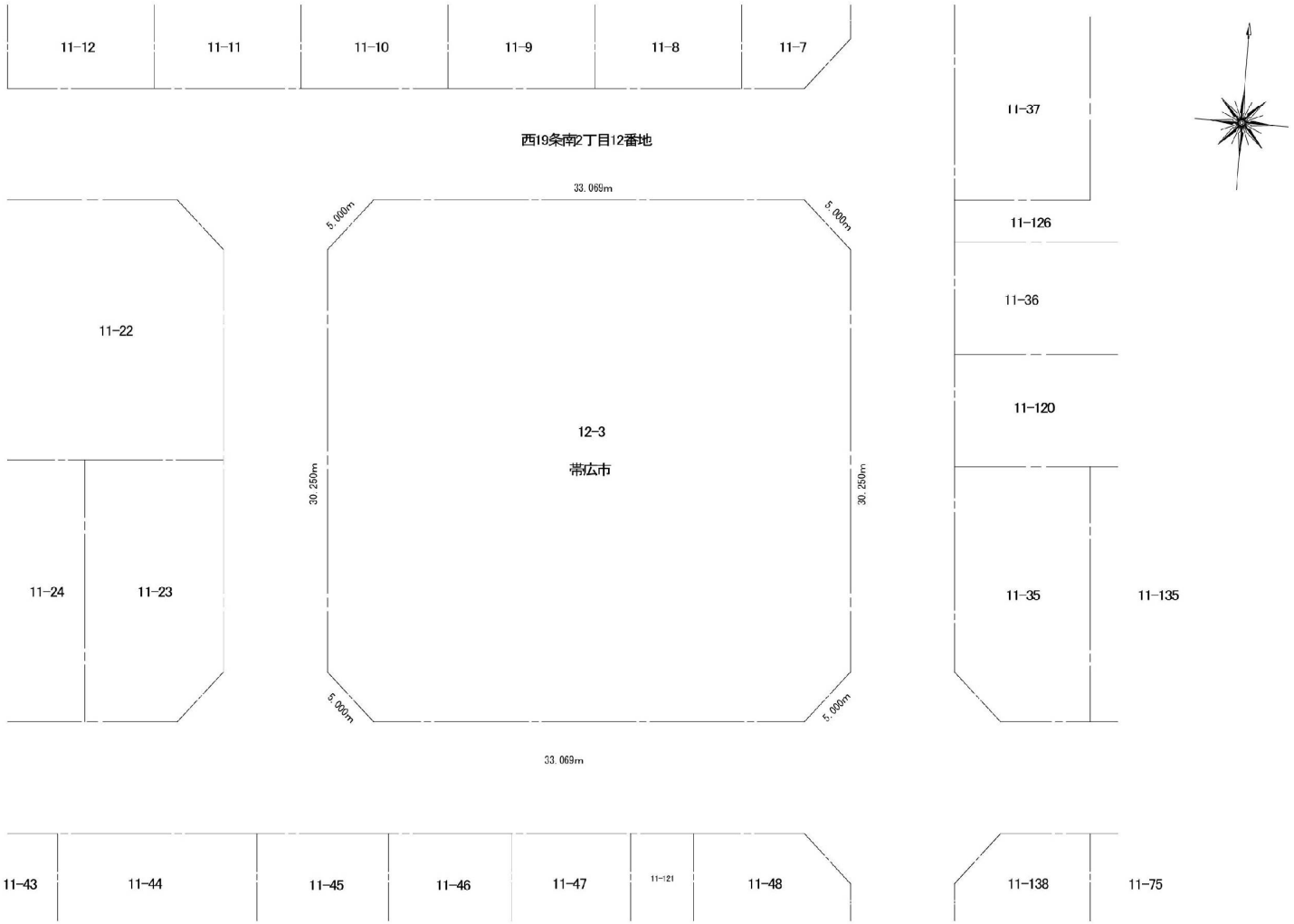
公園コード	2・2・58	公園種別	街区公園
公園名	めぐみ第1児童公園		
開設年月日	S 60年 8 月 21日	縮尺	S=1:300



例

公 園 用 地 敷 地 図

公園コード	2・2・58	公園種別	街区公園
公園名	めぐみ第1児童公園		
開設年月日	S 60年 8 月 21日	縮尺	S=1:300

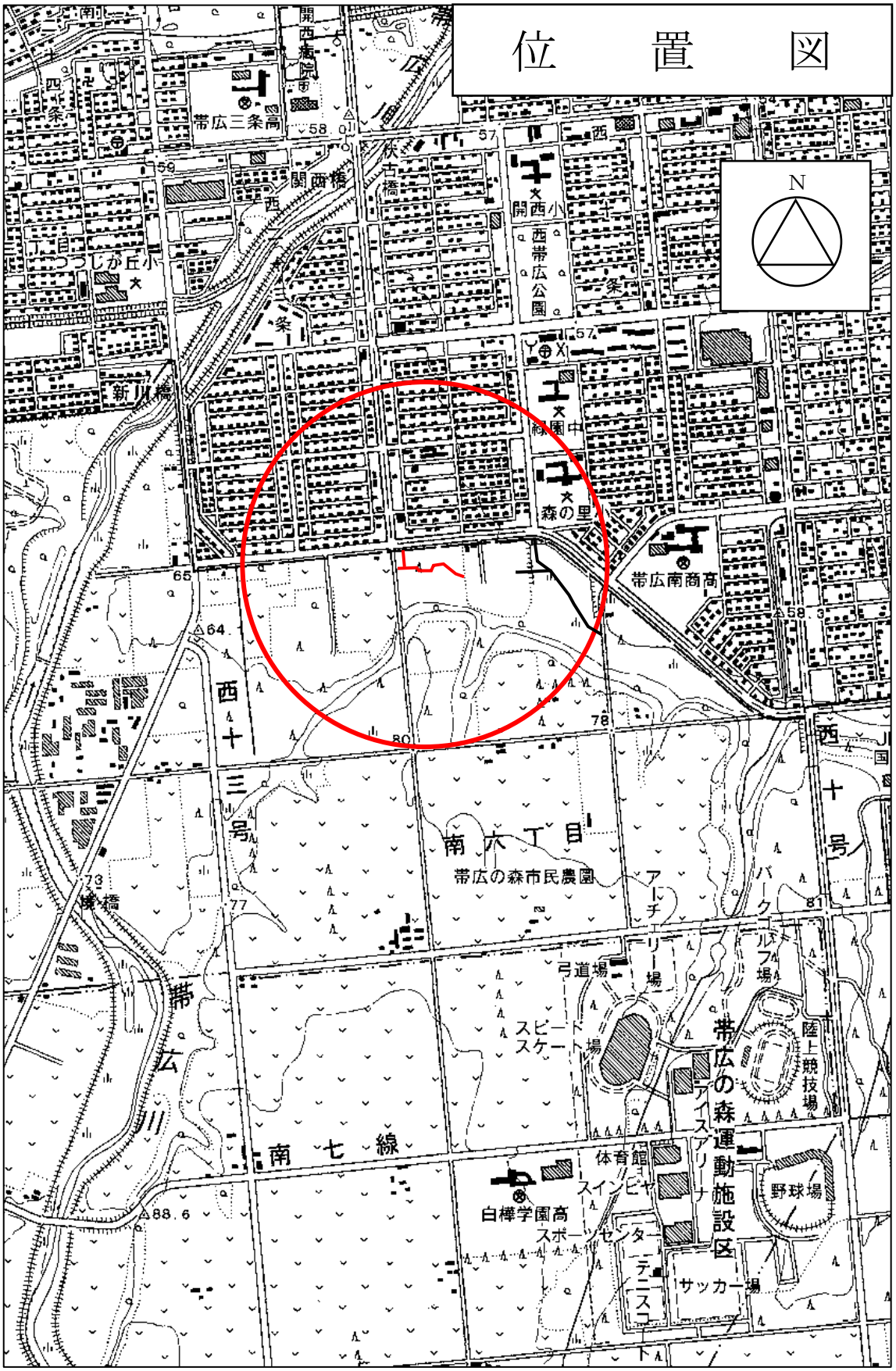


管 理 施 設 調 書

公園名	○　○　公　園	写真貼付 ※貼り付ける写真は、工事看板なし、全体が判るように撮影すること。
設置年度	令和　　年度	
工事名	○○公園整備工事	
工期	令和　　年　　月　　日　から 令和　　年　　月　　日　まで	
施工業者	○○造園㈱	
施設名	車止め、フェンス、門柱など	
構造	鋼製、木製、合成樹脂など	
形状	大きさ（高さ×横幅×奥行き）など	
製造ﾒｰｶｰ		
代理店名		
保証期間	令和　　年　　月　　日　から 令和　　年　　月　　日　まで	

位　　置　　図

位　置　図


N
帯広三条高
関西橋
伏古橋
西帯広公園
つつじが丘小
新川橋
帯広南商高
森の里
西十三号
南六丁目
帯広の森市民農園
西十号
橋
帯広川
南七線
スピードスケート場
陸上競技場
帯広の森運動施設区
アイスアリーナ
体育館
スイングビヤ
野球場
白樺学園高
スポーツセンター
テニスコート
サッカー場

概数として扱う数量一覧表

		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当初	事業区分	公園緑地整備･改修
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
共通仮設		式		1		
共通仮設費		式		1		
準備費		式		1		
立木積込み		t		24.3		概数
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：幹材、運搬距離：9.5km以下	t		9.1		概数
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：枝材、運搬距離：9.5km以下	t		5		概数
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：伐根物、運搬距離：9.5km以下	t		10.2		概数
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下	t		84.3		概数
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：伐根物	t		10.2		概数
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物	t		84.3		概数

工　事　数　量　総　括　表

工事名　　帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

帯広市都市環境部環境室みどりの課

工事数量総括表

		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	(当 初)	事業区分	公園緑地整備･改修
					工事区分	基盤整備

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						現場条件	単位	数量
基盤整備		式		1				
敷地造成工		式		1				
掘削工		式		1				
掘削［流用土Ｉ］	土質：土砂	m3		50		＜ 1 m3当たり＞ 掘削	ｍ３	1
掘削［残土Ｉ］	土質：土砂	m3		90		＜ 1 m3当たり＞ 掘削	ｍ３	1
盛土工		式		1				
路床盛土［流用土Ｉ］	土質：土砂、施工幅員；2.5m未満	m3		50		＜ 1 m3当たり＞ 路床盛土	ｍ３	1
路床盛土［流用土Ｉ］	土質：土砂、施工幅員；4.0m以上	m3		10		＜ 1 m3当たり＞ 路床盛土	ｍ３	1
法面整形工		式		1				
法面整形(切土部)	土質：砂質土	m2		0.2		＜ 1 m2当たり＞ 法面整形	ｍ２	1
法面整形(盛土部)		m2		180		＜ 1 m2当たり＞ 法面整形	ｍ２	1

工事数量総括表

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			（　当　初　）	事業区分	公園緑地整備･改修	
					工事区分	基盤整備	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						現場条件	単位	数量
残土処理工		式		1				
土砂等運搬	土質：土砂、運搬距離：5.0km以下 【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m3		90		＜　1　m3当たり＞ 土砂等運搬	ｍ３	1
残土等処分	【受入費｜　】	m3		90		＜　1　m3当たり＞ 残土等処分	ｍ３	1
法面工		式		1				
植生工		式		1				
公園張芝	芝規格：公園芝、肥料の有無：無し	m2		110		＜　1　m2当たり＞ 公園植栽　張芝工	m2	1
法覆基材工		式		1				
すき取り土法覆基材	厚さ：15cm	m2		180		＜　1　m2当たり＞ すき取り土張付	m2	1
施設整備		式		1				
雨水排水設備工		式		1				

工事数量総括表

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		(当 初)	事業区分	公園緑地整備･改修	
					工事区分	施設整備	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要 現場条件	単位	数量
作業土工		式		1				
(床掘り)	土質：土砂	(m3)		(3)		＜ 1 m3当たり＞ 床掘り	m３	1
(埋戻し)	土質：土砂	(m3)		(0.4)		＜ 1 m3当たり＞ 埋戻し	m３	1
管渠工		式		1				
暗渠排水管 園路-1 SP=640.00	管種別：波付加工管、管径：Φ200 【合成樹脂管｜波状管 φ200mm 無孔管 耐圧強度2300N/m以上 可とう性35mm/50N以上 長さ4m/本導水用にも適用可】【再生骨材｜０～４０mm 】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級 】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級 良好 供用日 】	m		5		＜ 4.6 m当たり＞ 暗渠排水管 基礎砕石 土砂等運搬	m m２ m３	4.6 2.3 0.24

工事数量総括表

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			（ 当 初 ）	事業区分	公園緑地整備･改修	
					工事区分	施設整備	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						現場条件	単位	数量
暗渠排水管 園路-1 SP=670.51	管種別：波付加工管、管径：Φ200 【合成樹脂管｜波状管 φ200mm 無孔管 耐圧強度2300N/m以上 可とう性35mm/50N以上 長さ4m/本導水用にも適用可】【再生骨材｜０～４０mm 】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級 】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級 良好 供用日 】	m		7		＜ 6.5 m当たり＞ 暗渠排水管 基礎砕石 土砂等運搬	 m m２ m３	 6.5 3.3 0.44
暗渠排水管 園路-2 SP=35.39	管種別：波付加工管、管径：Φ600 【合成樹脂管｜波状管 φ600mm 無孔管 内面平滑 耐圧強度6900N/m以上 長さ 5m/本 ﾌﾟﾗﾋｭｰﾑ管】【再生骨材｜０～４０mm 】【再生骨材｜０～４０mm 】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級 】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級 良好 供用日 】	m		8		＜ 7.5 m当たり＞ 暗渠排水管 基礎砕石 基礎砕石 土砂等運搬	 m m２ m２ m３	 7.5 7.5 7.5 2.13
(積芝)	【公園芝｜ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上 生ﾛｰﾙ芝 30×200×3cm以上 】	(m2)		(2)		＜ 1 m2当たり＞ 積芝	 m2	 1
園路広場整備工		式		1				
舗装準備工		式		1				

工事数量総括表

		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			(当 初)	事業区分	公園緑地整備･改修	
							工事区分	施設整備	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要	
								現場条件	単位	数量
不陸整正			補足材：無し	m2		654		＜ 1 m2当たり＞ 不陸整正	ｍ２	1
土系舗装工				式		1				
凍上抑制層(車道部)			路盤材種類・規格：再生骨材0～80級、仕上り厚：21cm 【再生骨材｜０～８０mm 】 【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級 良好 供用日 】	m2		654		＜ 10 m2当たり＞ 下層路盤（車道・路肩部） 土砂等運搬	ｍ２ ｍ３	10 1.75
下層路盤(車道・路肩部)			路盤材種類・規格：再生骨材0～40級、仕上り厚：25cm 【再生骨材｜０～４０mm 】 【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級 良好 供用日 】	m2		654		＜ 10 m2当たり＞ 下層路盤（車道・路肩部） 土砂等運搬	ｍ２ ｍ３	10 2.08
土舗装			材料種類・規格：緑色ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ、舗装厚：4cm	m2		654		＜ 1 m2当たり＞ ﾀﾞｽﾄ舗装工	m2	1
管理施設整備工				式		1				
車止め工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			（　当　初　）	事業区分	公園緑地整備･改修	
							工事区分	施設整備	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要	
								現場条件	単位	数量
車止め			規格：Φ250・H450 【車止め｜Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む） 擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 23kg 】	基		6		＜　1　基当たり＞ 車止めポスト設置 基礎ブロック設置工 特殊コンクリート製品（無筋）	本 個 m３	1 1 0.02
仮設工				式		1				
交通管理工				式		1				
(交通誘導警備員)				(人日)		(　3)		＜　1　人日当たり＞ 交通誘導警備員Ａ	人日	1
直接工事費				式		1				
共通仮設				式		1				
共通仮設費				式		1				
準備費				式		1				
(立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積)				(本)		(　17)		＜　1　本当たり＞ 立木切倒し・枝払切揃え、立木集積	本	1

工事数量総括表

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			(当 初)	事業区分	公園緑地整備･改修	
					工事区分	共通仮設費	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						現場条件	単位	数量
(立木積込み)		(t)		(24.3)		＜ 1 t当たり＞ 立木積込	t	1
(立木・伐開物・抜根物運搬費)	種類：幹材、運搬距離：9.5km以下	(t)		(9.1)		＜ 1 t当たり＞ 立木、伐開物、抜根物等運搬	t	1
(立木・伐開物・抜根物運搬費)	種類：枝材、運搬距離：9.5km以下	(t)		(5)		＜ 1 t当たり＞ 立木、伐開物、抜根物等運搬	t	1
(立木・伐開物・抜根物運搬費)	種類：伐根物、運搬距離：9.5km以下	(t)		(10.2)		＜ 1 t当たり＞ 立木、伐開物、抜根物等運搬	t	1
(立木・伐開物・抜根物運搬費)	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下	(t)		(84.3)		＜ 1 t当たり＞ 立木、伐開物、抜根物等運搬	t	1
(立木・伐開物・抜根物処分費)	種類：伐根物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし） 受入の可否は数量により協議 ㈱日協運輸】	(t)		(10.2)		＜ 1 t当たり＞ 処分費（m3）	m3	1.25
(立木・伐開物・抜根物処分費)	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜スキ取り物 ボサ類 ㈱鈴建興業】	(t)		(84.3)		＜ 1 t当たり＞ 処分費（m3）	m3	1.25
現場環境改善費(率計上)		式		1				
共通仮設費（率計上）		式		1				
純工事費		式		1				

工事数量総括表

		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			（　当　初　）	事業区分	公園緑地整備･改修		
							工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
現場管理費				式		1				
工事原価				式		1				
一般管理費等				式		1				
工事価格				式		1				
消費税相当額				式		1				
工事費計				式		1				

公　共

2025年度施行

見積用

帯広の森園路整備工事（西11～12号間）　実施設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

帯広市

積　算　情　報

設計書番号	25-18-A1-0051-0	設計者名	
出張所名	帯広市		
適用単価	一般土木		
入札日（開札日）	2025年 8月19日		
歩掛適用年月	2025年 7月28日		
単価適用年月	2025年 7月28日		
適用単価地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、士幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・士幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	公園工事		

積算時想定工事期間	2025年 8月26日　～　2025年11月20日　(87日)
工期の設定	通常工期　実施工期：87日　完成期限：　2025年11月20日
冬期労務補正	2025年 8月　～　2025年11月　冬期労務補正：なし　時間的制約：時間的制約無し

2025/07/15 17:12:37

工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
帯広の森整備事業	帯広市西22条南5丁目		帯広の森

費　　目	本工事費	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

	No	当　　初	変　　更
工事概要	1	園路-1　延長173.36m、幅員3.00m	
	2	園路-2　延長 39.33m、幅員3.00m	
	3	土系舗装工　654m2	
	4	車止め工　6基	
	5	敷地造成工、法面工、雨水排水設備工　一式	
	6		
	7		

諸経費情報

	ＩＣＴ補正	しない
	週休２日制の補正	４週８休以上(月単位)
共通仮設費	主たる工種	０９：公園工事
	施工地域補正	補正無し（地方部　施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）
	除雪工事補正	補正無
現場環境改善費	計上の有無	する
	市街地補正	市街地以外
現場管理費	施工地域補正	補正無し（地方部　施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）
	緊急工事補正	しない
	砂防・地滑り工事補正	しない
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	補正無し（地方部　施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2025/07
一般管理費等	財団法人等の補正	しない
	前払金割合による補正	３５％を超えるもの
	契約保証に係る補正	

工 事 費 総 括 表

費　　目	請　　負 工　事　費 （消費税等を含む）	工 事 価 格 （消費税等を含まない）	消費税等相当額	適　　用
工事費				
本工事				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
営繕費				
工事雑費				
応急工事費				
請負対象額				

注：上段は現設計　　下段は設計変更

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	基盤整備	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基盤整備		式	1					
敷地造成工		式	1					
掘削工		式	1					
掘削［流用土Ｉ］	土質：土砂	m3	50					単-1号 週休有
掘削［残土Ｉ］	土質：土砂	m3	90					単-2号 週休有
盛土工		式	1					
路床盛土［流用土Ｉ］	土質：土砂、施工幅員；2.5m未満	m3	50					単-3号 週休有
路床盛土［流用土Ｉ］	土質：土砂、施工幅員；4.0m以上	m3	10					単-4号 週休有
法面整形工		式	1					
法面整形(切土部)	土質：砂質土	m2	0.2					単-5号 週休有
法面整形(盛土部)		m2	180					単-6号 週休有
残土処理工		式	1					

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	基盤整備	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土砂等運搬	土質：土砂、運搬距離：5.0km以下【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日】	m3	90					単-7号 週休有
残土等処分	【受入費｜　】	m3	90					単-8号 週休有
法面工		式	1					
植生工		式	1					
公園張芝	芝規格：公園芝、肥料の有無：無し	m2	110					単-9号 週休有
法覆基材工		式	1					
すき取り土法覆基材	厚さ：15cm	m2	180					単-10号 週休有
施設整備		式	1					
雨水排水設備工		式	1					
作業土工		式	1					

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	施設整備	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
床掘り	土質：土砂	m3	3					単-11号 週休有
埋戻し	土質：土砂	m3	0.4					単-12号 週休有
管渠工		式	1					
暗渠排水管 園路-1 SP=640.00	管種別：波付加工管、管径：Φ200【合成樹脂管｜波状管　φ200㎜　無孔管 耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可】【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日】	m	5					単-13号 週休有

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	施設整備	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
暗渠排水管 園路-1 SP=670.51	管種別：波付加工管、管径：Φ200 【合成樹脂管｜波状管　φ200㎜　無孔管 耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可】【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日 】	m	7					単-14号 週休有
暗渠排水管 園路-2 SP=35.39	管種別：波付加工管、管径：Φ600 【合成樹脂管｜波状管　φ600㎜　無孔管 内面平滑　耐圧強度6900N/m以上　長さ 5m/本　ﾌﾟﾗﾋｭｰﾑ管】【再生骨材｜０～４０mm　】【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m	8					単-15号 週休有
積芝	【公園芝｜ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝　30×200×3㎝以上 】	m2	2					単-16号 週休有

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	施設整備	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
園路広場整備工		式	1					
舗装準備工		式	1					
不陸整正	補足材：無し	m2	654					単-17号 週休有
土系舗装工		式	1					
凍上抑制層(車道部)	路盤材種類・規格：再生骨材0～80級、仕上り厚：21cm 【再生骨材｜０～８０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好供用日　】	m2	654					単-18号 週休有
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類・規格：再生骨材0～40級、仕上り厚：25cm 【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好供用日　】	m2	654					単-19号 週休有
土舗装	材料種類・規格：緑色ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ、舗装厚：4cm	m2	654					単-20号 週休有

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	施設整備	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
管理施設整備工		式	1					
車止め工		式	1					
車止め	規格：Φ250・H450【車止め｜Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む） 擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 23kg 】	基	6					単-21号 週休有
仮設工		式	1					
交通管理工		式	1					
交通誘導警備員		人日	3					単-22号 週休有
直接工事費		式	1					
共通仮設		式	1					
共通仮設費		式	1					
準備費		式	1					
立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積		本	17					単-23号 週休有

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	共通仮設費	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
立木積込み		t	24.3					単-24号 概数　　週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：幹材、運搬距離：9.5km以下	t	9.1					単-25号 概数　　週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：枝材、運搬距離：9.5km以下	t	5					単-26号 概数　　週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：伐根物、運搬距離：9.5km以下	t	10.2					単-27号 概数　　週休有
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下	t	84.3					単-28号 概数　　週休有
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：伐根物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議　】	t	10.2					単-29号 概数　　週休有
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜スキ取り物　ボサ類　】	t	84.3					単-30号 概数　　週休有
現場環境改善費(率計上)		式	1					
共通仮設費（率計上）		式	1					
純工事費		式	1					

設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	事業区分	公園緑地整備･改修	主たる工種	公園工事
			工事区分	共通仮設費	施工地域	補正無し

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場管理費		式	1					
工事原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
工事費計		式	1					

工場管理費

1	間接労務費対象額　管理費区分７		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費　工場純工事費		
5	非対象額計（－）		管理費区分５，９
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

共通仮設費

1	主たる工種　単独（当該工事）	公園工事	
2	主たる工種　合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費（処分費）		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費　単独（追加工事）		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計（－）		
11	管理費区分１		橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分２，７		工場原価
13	管理費区分５		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分９		間接費非対象額
15	管理費区分Ｔ		全処分費のうち３％または３０００万円を超える額
16	対象額支給品（＋）		
17	無償貸付機械評価額（＋）		
18	共通仮設費対象額　単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額　単独（追加工事）		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費（率分）　率（補正前）　単独（追加工事）		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正　単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費（率分）　率（補正後）		週休２日制補正係数　1.03有り
30	計上額　単独（追加工事）		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

共通仮設費

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計（－）		
37	管理費区分１		橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分２，７		工場原価
39	管理費区分５		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分９		間接費非対象額
41	管理費区分Ｔ		
42	対象額支給品（＋）		
43	無償貸付機械評価額（＋）		
44	現場環境改善費対象額（Ｐｉ）　単独（追加工事）		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費　率（補正前）　単独（追加工事）		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正　単独（追加工事）		
51	現工事		
52	現場環境改善費　率（補正後）		
53	計上額　単独（追加工事）		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費（積上分）		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

現場管理費

1	主たる工種	公園工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）　直接工事費		
4	単独（追加工事）　共通仮設費		
5	非対象額計（－）		
6	管理費区分２，７		工場原価
7	管理費区分５		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分９		間接費非対象額
9	管理費区分Ｔ		全処分費のうち３％または３０００万円を超える額
10	対象額支給品（＋）		
11	無償貸付機械評価額（＋）		
12	現場管理費対象純工事費　単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く　現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前）　単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正　単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		帯広市
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正　単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		週休２日制補正係数　1.05有り
29	計上額　単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

一般管理費等

事務所名　帯広市都市環境部環境室みどりの課　　工事番号　　第　回変更

発注年月　　契約区分　　主工種　公園工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計（－）		
7	管理費区分９		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分Ｔ		全処分費のうち３％または３０００万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価　単独（追加工事）		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く　一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率（補正前）　単独（追加工事）		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数　単独（追加工事）		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数　単独（追加工事）		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価（当初設計）		
23	契約保証に係る補正値　単独（追加工事）		
24	一般管理費等 率（補正後）		
25	計上額　単独（追加工事）		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額
残土等処分	【受入費｜　】	m3			
残土等処分		m３	1		
標準単価			1		
材料構成比率		%	1		
受入費		%	1		
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：伐根物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議　】	t			
処分費（m3）		m3	1.25		
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議	空m３	100		
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜スキ取り物　ボサ類　】	t			
処分費（m3）		m3	1.25		
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	スキ取り物　ボサ類	空m３	100		

※表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

※表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） (直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額)	
W：処分費等の占める割合 W＝S／（P＋Q）	
St：Wが３%相当の処分費等の価格（W＞３%の場合） St＝（P＋Q）×３%	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

処分費内諸経費対象額・算出区分

A	「W≦３%」かつ 「S≦30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W≦３%」かつ 「S＞30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は３千万円とする
C	「W＞３%」のとき	（St）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は３千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

内訳書＜データ無し＞

							単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量／出来高数量／出来高累計／前回残工事／今回残工事

1次単価表

単-1号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	掘削［流用土Ⅰ］	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土質＝土砂：施工方法＝ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ：押土の有無＝無し：障害の有無＝無し：施工数量＝5,000m3未満：	ｍ３	1			CB210100 管理費区分 無 単-31号
計						
単価						

1次単価表

単-2号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	掘削［残土Ｉ］	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土質＝土砂：施工方法＝ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ：押土の有無＝無し：障害の有無＝無し：施工数量＝5,000m3未満：	ｍ３	1			CB210100 管理費区分 無 単-32号
計						
単価						

1次単価表

単-3号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路床盛土［流用土Ｉ］	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂、施工幅員；2.5m未満						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	施工幅員＝2.5m未満：	ｍ３	1			CB210520 管理費区分 無 単-33号
計						
単価						

1次単価表

単-4号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路床盛土［流用土Ｉ］	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂、施工幅員；4.0m以上						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	施工幅員＝4.0m以上：施工数量＝20,000m3未満：障害の有無＝無し：	ｍ３	1			CB210520 管理費区分 無 単-34号
計						
単価						

1次単価表

単-5号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	法面整形(切土部)	単位	m2	数量	1	単価	
規格	土質：砂質土						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
法面整形	整形箇所＝切土部：現場制約の有無＝無し： 土質＝ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土：費用の 内訳＝全ての費用：	ｍ２	1			CB220010 管理費区分 無 単-35号
計						
単価						

1次単価表

単-6号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	法面整形(盛土部)	単位	m2	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
法面整形	整形箇所＝盛土部：法面締固めの有無＝有り：現場制約の有無＝無し：土質＝ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土：費用の内訳＝全ての費用：	m２	1			CB220010 管理費区分 無 単-36号
計						
単価						

1次単価表

単-7号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂、運搬距離：5.0km以下【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準：積込機種･規格＝ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3（平積0.6m3）：土質＝土砂（岩塊･玉石混り土含む）：DID区間の有無＝有り：運搬距離（km）（DID区間有）＝5.0km以下：【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	ｍ３	1			CB210110 管理費区分 無 単-37号
計						
単価						

1次単価表

単-8号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	残土等処分	単位	m3	数量	1	単価	
規格	【受入費｜　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
残土等処分	【受入費｜　】	m３	1			CB210560 管理費区分 T 単-38号
計						
単価						

1次単価表

単-9号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	公園張芝	単位	m2	数量	1	単価	
規格	芝規格：公園芝、肥料の有無：無し						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
公園植栽　張芝工		m2	1			WYB00001 管理費区分 無 単-39号
計						
単価						

1次単価表

単-10号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	すき取り土法覆基材	単位	m2	数量	1	単価	
規格	厚さ：15cm						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
すき取り土張付		m2	1			DX042220 管理費区分 無 単-40号
計						
単価						

1次単価表

単-11号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	床掘り	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土質＝土砂：施工方法＝上記以外（小規模） ：費用の内訳＝全ての費用：	m３	1			CB210030 管理費区分 無 単-41号
計						
単価						

1次単価表

単-12号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	埋戻し	単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模）：土質＝土砂 ：費用の内訳＝全ての費用：	m３	1			CB210410 管理費区分 無 単-42号
計						
単価						

1次単価表

単-13号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	暗渠排水管 園路-1 SP=640.00	単位	m	数量	4.6	単価	
規格	管種別：波付加工管、管径：Φ200【合成樹脂管｜波状管　φ200㎜　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可】【再生骨材｜０～４０ｍｍ　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	作業区分＝据付：管種別＝波状管及び網状管：呼び径＝200～400㎜：継手材料費＝要：費用の内訳＝全ての費用： 【合成樹脂管｜波状管　φ200㎜　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可】	m	4.6			CB222770 管理費区分 無 単-43号
基礎砕石	砕石の厚さ＝7.5㎝を超え12.5㎝以下：砕石の種類＝砕石（各種）：費用の内訳＝全ての費用： 【再生骨材｜０～４０ｍｍ　】	m２	2.3			CB221110 管理費区分 無 単-44号
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準：積込機種･規格＝ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質＝土砂（岩塊･玉石混り土含む）：DID区間の有無＝有り：運搬距離（km）（DID区間有）＝1.5km以下： 【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m３	0.24			CB210110 管理費区分 無 単-45号
計						
単価						

1次単価表

単-14号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	暗渠排水管 園路-1 SP=670.51	単位	m	数量	6.5	単価	
規格	管種別：波付加工管、管径：Φ200【合成樹脂管｜波状管　φ200㎜　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可】【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	作業区分＝据付：管種別＝波状管及び網状管：呼び径＝200～400㎜：継手材料費＝要：費用の内訳＝全ての費用： 【合成樹脂管｜波状管　φ200㎜　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可】	m	6.5			CB222770 管理費区分 無 単-46号
基礎砕石	砕石の厚さ＝12.5㎝を超え17.5㎝以下：砕石の種類＝砕石（各種）：費用の内訳＝全ての費用： 【再生骨材｜０～４０mm　】	m２	3.3			CB221110 管理費区分 無 単-47号
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準：積込機種･規格＝ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質＝土砂（岩塊･玉石混り土含む）：DID区間の有無＝有り：運搬距離（km）（DID区間有）＝1.5km以下： 【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m３	0.44			CB210110 管理費区分 無 単-48号
計						
単価						

1次単価表

単-15号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	暗渠排水管 園路-2 SP=35.39	単位	m	数量	7.5	単価	
規格	管種別：波付加工管、管径：Φ600【合成樹脂管｜波状管　φ600mm　無孔管　内面平滑　耐圧強度6900N/m以上　長さ 5m/本　ﾌﾟﾗﾋｭｰﾑ管】【再生骨材｜０～４０mm　】【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・デ						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	作業区分＝据付：管種別＝波状管及び網状管：呼び径＝450～600mm：継手材料費＝要：費用の内訳＝全ての費用： 【合成樹脂管｜波状管　φ600mm　無孔管　内面平滑　耐圧強度6900N/m以上　長さ 5m/本　ﾌﾟﾗﾋｭｰﾑ管】	m	7.5			CB222770 管理費区分 無 単-49号
基礎砕石	砕石の厚さ＝17.5cmを超え20.0cm以下：砕石の種類＝砕石（各種）：費用の内訳＝全ての費用： 【再生骨材｜０～４０mm　】	m２	7.5			CB221110 管理費区分 無 単-50号
基礎砕石	同上	m２	7.5			CB221110 管理費区分 無 単-51号
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準：積込機種･規格＝ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質＝土砂（岩塊･玉石混り土含む）：DID区間の有無＝有り：運搬距離（km）（DID区間有）＝1.5km以下： 【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m３	2.13			CB210110 管理費区分 無 単-52号
計						
単価						

1次単価表

単-16号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	積芝	単位	m2	数量	1	単価	
規格	【公園芝｜ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝　30×200×3cm以上　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
積芝	資材計上区分＝材料費＋施工費： 【公園芝｜ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝 30×200×3cm以上　】	m2	1			DX042270 管理費区分 無 単-53号
計						
単価						

1次単価表

単-17号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正	単位	m2	数量	1	単価	
規格	補足材：無し						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸整正	補足材料の有無＝無し：費用の内訳＝全ての費用：	m２	1			CB410010 管理費区分 無 単-54号
計						
単価						

1次単価表

単-18号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	凍上抑制層(車道部)	単位	m2	数量	10	単価	
規格	路盤材種類・規格：再生骨材0～80級、仕上り厚：21cm【再生骨材｜０～８０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	全仕上り厚（実数入力）＝210mm：施工区分＝2層施工：材料＝路盤材（各種）：費用の内訳＝全ての費用：【再生骨材｜０～８０mm　】	m２	10			CB410030 管理費区分 無 単-55号
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準：積込機種･規格＝ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質＝土砂（岩塊･玉石混り土含む）：DID区間の有無＝有り：運搬距離（km）（DID区間有）＝1.5km以下：【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m３	1.75			CB210110 管理費区分 無 単-56号
計						
単価						

1次単価表

単-19号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤(車道・路肩部)	単位	m2	数量	10	単価	
規格	路盤材種類・規格：再生骨材0～40級、仕上り厚：25cm【再生骨材｜０～４０mm　】【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	全仕上り厚（実数入力）＝250mm：施工区分＝2層施工：材料＝路盤材（各種）：費用の内訳＝全ての費用：【再生骨材｜０～４０mm　】	m２	10			CB410030 管理費区分 無 単-57号
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準：積込機種･規格＝ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質＝土砂（岩塊･玉石混り土含む）：DID区間の有無＝有り：運搬距離（km）（DID区間有）＝1.5km以下：【ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］｜１０ｔ積級　】【タイヤ損耗費｜１０ｔ積級　良好　供用日　】	m３	2.08			CB210110 管理費区分 無 単-58号
計						
単価						

1次単価表

単-20号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土舗装	単位	m2	数量	1	単価	
規格	材料種類・規格：緑色ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ、舗装厚：4cm						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾀﾞｽﾄ舗装工		m2	1			WYB00003 管理費区分 無 単-59号 建設物価調査会策定
計						
単価						

1次単価表

単-21号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	車止め	単位	基	数量	1	単価	
規格	規格：Φ250・H450【車止め｜Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む） 擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 23kg 】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
車止めポスト設置	費用の内訳＝全ての費用：【車止め｜Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む） 擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 23kg 】	本	1			CB420910 管理費区分 無 単-60号
基礎ブロック設置工	1個当り質量＝W≦100kg：施工区分＝据付：	個	1			DX211800 管理費区分 無 単-61号
特殊コンクリート製品（無筋）	重量１００kg以下　参考重量２３５０kg／m3	m３	0.02			ZKD2950000 管理費区分 無 地方資材単価
計						
単価						

1次単価表

単-22号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	交通誘導警備員	単位	人日	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員A		人日	1			WB010211 管理費区分 無 単-62号
計						
単価						

1次単価表

単-23号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積	単位	本	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木切倒し・枝払切揃え、立木集積	樹径＝２０ｃｍ以上：伐採数＝17本：現場条件＝1以外：	本	1			DX090600 管理費区分 無 単-63号
計						
単価						

単-24号

1次単価表

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木積込み	単位	t	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木積込		t	1			DX090700 管理費区分 無 単-64号
計						
単価						

1次単価表

単-25号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物運搬費	単位	t	数量	1	単価	
規格	種類：幹材、運搬距離：9.5km以下						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離＝９．５ｋｍ以下：損耗費補修費区分＝良好：	t	1			DX090800 管理費区分 無 単-65号
計						
単価						

1次単価表

単-26号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物運搬費	単位	t	数量	1	単価	
規格	種類：枝材、運搬距離：9.5km以下						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離＝９．５ｋｍ以下：損耗費補修費区分＝良好：	t	1			DX090800 管理費区分 無 単-65号
計						
単価						

1次単価表

単-27号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物運搬費	単位	t	数量	1	単価	
規格	種類：伐根物、運搬距離：9.5km以下						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離＝９．５ｋｍ以下：損耗費補修費区分＝良好：	t	1			DX090800 管理費区分 無 単-65号
計						
単価						

1次単価表

単-28号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物運搬費	単位	t	数量	1	単価	
規格	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離＝９．５ｋｍ以下：損耗費補修費区分＝良好：	t	1			DX090800 管理費区分 無 単-65号
計						
単価						

1次単価表

単-29号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物処分費	単位	t	数量	1	単価	
規格	種類：伐根物【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（m3）	【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議　】	m3	1.25			WB020051 管理費区分 T 単-66号
計						
単価						

1次単価表

単-30号

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木・伐開物・抜根物処分費	単位	t	数量	1	単価	
規格	種類：すきとり物【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜スキ取り物　ボサ類　】						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（m3）	【産業廃棄物一般廃棄物処理料金｜スキ取り物　ボサ類　】	m3	1.25			WB020051 管理費区分 T 単-67号
計						
単価						

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-31号　　CB210100

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	掘削	単位	m３	数量	1	単価	
規格	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 無し 無し 5,000m3未満						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ型）［標準型・超低騒音型］	排出ガス対策型（第３次基準値）　山積０．８ｍ３	%				M000202090 管理費区分 無

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-32号　　CB210100

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	掘削	単位	m３	数量	1	単価	
規格	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 無し 無し 5,000m3未満						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ型）［標準型・超低騒音型］	排出ガス対策型（第３次基準値）　山積０．８ｍ３	%				M000202090 管理費区分 無

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-33号　　CB210520

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路床盛土	単位	m3	数量	1	単価	
規格	2.5m未満						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式]	運転質量0.8～1.1t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001070002 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-34号　　CB210520

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路床盛土	単位	m３	数量	1	単価	
規格	4.0m以上 20,000m3未満 無し						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ブルドーザ［湿地］	７ｔ級　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001005006 管理費区分 無 刊行物単価
振動ローラ（土工用）[フラット・シングルドラム型]	運転質量１１～１２ｔ　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001071001 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-35号　　CB220010

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	法面整形	単位	m2	数量	1	単価	
規格	切土部 無し ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土　全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-36号　　CB220010

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	法面整形	単位	m2	数量	1	単価	
規格	盛土部 有り 無し ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土　全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-37号　　CB210110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m３	数量	1	単価	
規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3（平積0.6m3）　土砂（岩塊･玉石混り土含む）　有り 5.0km以下						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 【タイヤ損耗費】	１０ｔ積級 【１０ｔ積級　良好　供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-38号　　CB210560

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	残土等処分	単位	m3	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
材料構成比率		%				
受入費		%				Y007600000-001 管理費区分 T

参考資料（1）

単-39号　　WYB00001

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	公園植栽　張芝工	単位	m2	数量	100	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.2			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
造園工	割増対象賃金比0.773	人	1.1			R0104 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	2.3			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
公園芝	ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝　30×200×3cm以上	m2	100			WYB00002 管理費区分 無 Z1
諸雑費（率＋まるめ）	4%　全体の合計金額に率を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-40号　　DX042220

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	すき取り土張付	単位	m2	数量	100	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.1			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	0.38			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分＝山積0.8m3級（平積0.6m3)：機械損料補正＝補正なし(土砂等)：排対区分＝排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準)：	時間	2.8			DX022400 管理費区分 無 単-68号
諸雑費（率＋まるめ）	Z1の合計金額に0.4%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-41号　　CB210030

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	床掘り	単位	m３	数量	1	単価	
規格	土砂 上記以外（小規模） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［後方超小旋回型］	排ガス型（第２次） 山積０．２８ｍ３	%				M000202096 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-42号　　CB210410

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	埋戻し	単位	m３	数量	1	単価	
規格	上記以外（小規模）　土砂 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
ガソリン	レギュラー　スタンド渡し　無鉛　JIS K 2202 2号	%				Z006704001 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［後方超小旋回型］	排ガス型（第２次）　山積０．２８ｍ３	%				M000202096 管理費区分 無 刊行物単価
ランマ	質量６０～８０ｋｇ	%				M000806001 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-43号　　CB222770

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	暗渠排水管	単位	m	数量	1	単価	
規格	据付 波状管及び網状管 200～400mm 要 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
合成樹脂管	波状管　φ200mm　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35mm/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可	%				ZAB6408000 管理費区分 無 道建設部策定単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-44号　　CB221110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	基礎砕石	単位	m2	数量	1	単価	
規格	7.5cmを超え12.5cm以下 砕石（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	０～４０mm	%				ZKD2054000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８m３（平積０．６m３） 排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-45号　　CB210110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m３	数量	1	単価	
規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）　土砂（岩塊･玉石混り土含む）　有り 1.5km以下						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 【タイヤ損耗費】	１０ｔ積級 【１０ｔ積級　良好　供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-46号　　CB222770

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	暗渠排水管	単位	m	数量	1	単価	
規格	据付 波状管及び網状管 200～400mm 要 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
合成樹脂管	波状管　φ200mm　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35mm/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可	%				ZAB6408000 管理費区分 無 道建設部策定単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-47号　　CB221110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	基礎砕石	単位	m2	数量	1	単価	
規格	12.5cmを超え17.5cm以下 砕石（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	０～４０mm	%				ZKD2054000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８m３（平積０．６m３） 排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-48号　　CB210110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m３	数量	1	単価	
規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）　土砂（岩塊･玉石混り土含む）　有り 1.5km以下						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 【タイヤ損耗費】	１０ｔ積級 【１０ｔ積級　良好　供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-49号　　CB222770

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	暗渠排水管	単位	m	数量	1	単価	
規格	据付 波状管及び網状管 450～600mm 要 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
合成樹脂管	波状管　φ600mm　無孔管　内面平滑　耐圧強度6900N/m以上　長さ 5m/本　ﾌﾟﾗﾋｭｰﾑ管	%				ZAB6506000 管理費区分 無 道建設部策定単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-50号　　CB221110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	基礎砕石	単位	m2	数量	1	単価	
規格	17.5cmを超え20.0cm以下 砕石（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	０～４０mm	%				ZKD2054000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８m３（平積０．６m３） 排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-51号　　CB221110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	基礎砕石	単位	m2	数量	1	単価	
規格	17.5cmを超え20.0cm以下 砕石（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	０～４０mm	%				ZKD2054000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８m３（平積０．６m３） 排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-52号　　CB210110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m３	数量	1	単価	
規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）　土砂（岩塊･玉石混り土含む）　有り 1.5km以下						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 【タイヤ損耗費】	１０ｔ積級 【１０ｔ積級　良好　供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）

単-53号　　DX042270

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	積芝	単位	m2	数量	100	単価	
規格	材料費＋施工費						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	30.8			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
公園芝	ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝　30×200×3cm以上	m２	1,170			Y001503000-002 管理費区分 無 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-54号　　CB410010

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正	単位	m2	数量	1	単価	
規格	無し 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
モータグレーダ［土工用・排ガス対策型（第２次）］	ブレード幅３．１ｍ	%				M000701015 管理費区分 無
ロードローラ［マカダム・排ガス対策型（第２次）］	運転質量１０ｔ　締固め幅２．１ｍ	%				M000801009 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-54号　　CB410010

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正	単位	m2	数量	1	単価	
規格	無し 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型]	運転質量8～20t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001060003 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-55号　　CB410030

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤（車道・路肩部）	単位	m２	数量	1	単価	
規格	210㎜ 2層施工 路盤材（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	０～８０mm	%				ZKD2058000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
モータグレーダ［土工用・排ガス対策型（第２次）］	ブレード幅３．１m	%				M000701015 管理費区分 無

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-55号　　CB410030

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤（車道・路肩部）	単位	m2	数量	1	単価	
規格	210㎜ 2層施工 路盤材（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
ロードローラ［マカダム・排ガス対策型（第２次）］	運転質量１０ｔ　締固め幅２．１ｍ	%				M000801009 管理費区分 無 刊行物単価
ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型]	運転質量8～20t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001060003 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-56号　　CB210110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m３	数量	1	単価	
規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）　土砂（岩塊･玉石混り土含む）　有り 1.5km以下						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 【タイヤ損耗費】	１０ｔ積級 【１０ｔ積級　良好　供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-57号　　CB410030

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤（車道・路肩部）	単位	m２	数量	1	単価	
規格	250㎜ 2層施工 路盤材（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	０～４０mm	%				ZKD2054000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
モータグレーダ［土工用・排ガス対策型（第２次）］	ブレード幅３．１m	%				M000701015 管理費区分 無

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-57号　　CB410030

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤（車道・路肩部）	単位	m2	数量	1	単価	
規格	250㎜ 2層施工 路盤材（各種） 全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
ロードローラ［マカダム・排ガス対策型（第２次）］	運転質量１０ｔ　締固め幅２．１ｍ	%				M000801009 管理費区分 無 刊行物単価
ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型]	運転質量8～20t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001060003 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-58号　　CB210110

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬	単位	m３	数量	1	単価	
規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3（平積1.0m3）　土砂（岩塊･玉石混り土含む）　有り 1.5km以下						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 【タイヤ損耗費】	１０ｔ積級 【１０ｔ積級　良好　供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（1）

単-59号　　WYB00003

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ﾀﾞｽﾄ舗装工 建設物価調査会策定	単位	m2	数量	100	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	人	0.16			R0101 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	0.17			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
砕石ﾀﾞｽﾄ（緑色ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	粒径0～2.5mm	m3	5.08			WYB00004 管理費区分 無 帯広市見積策定単価 Z1
表層安定剤	塩化ｶﾙｼｳﾑ	kg	120			WYB00005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
路体（築堤）盛土	施工幅員＝2.5m未満：	m３	4			CB210510 管理費区分 無 単-69号 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）（施工パッケージ）

単-60号　　CB420910

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	車止めポスト設置	単位	本	数量	1	単価	
規格	全ての費用						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
車止め	Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む） 擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 23kg	%				Y000800004-001 管理費区分 無

参考資料（1）

単-61号　　DX211800

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	基礎ブロック設置工	単位	個	数量	10	単価	
規格	W≦100kg 据付						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.1			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	0.3			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-62号　　WB010211

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員A	割増対象賃金比0.860	人	1			R0803 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-63号　　DX090600

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木切倒し・枝払切揃え、立木集積	単位	本	数量	100	単価	
規格	２０ｃｍ以上 17本 1以外						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	7.709			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	人	9.488			R0101 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	3.558			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分＝山積0.5m3級（平積0.4m3)：機械損料補正＝補正なし(土砂等)：排対区分＝排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)：	時間	83.02			DX022400 管理費区分 無 単-70号
掴み装置	開口幅１７００～２０００爪幅４００～７５０mm	時間	83.02			M000291001 管理費区分 無 刊行物単価
諸雑費（率＋まるめ）	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-64号　　DX090700

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木積込	単位	t	数量	10	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	0.45			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分＝山積0.5m3級（平積0.4m3)：機械損料補正＝補正なし(土砂等)：排対区分＝排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)：	時間	1.53			DX022400 管理費区分 無 単-71号 Z1
掴み装置	開口幅１７００～２０００爪幅４００～７５０mm	時間	1.53			M000291001 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-65号　　DX090800

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	立木、伐開物、抜根物等運搬	単位	t	数量	10	単価	
規格	９．５ｋｍ以下 良好						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	ダンプトラック＝１０ｔ積級：機械損料補正＝補正なし（土砂等）：タイヤ損耗費＝良好 ：	時間	4.5			DX023000 管理費区分 無 単-72号 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-66号　　WB020051

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	処分費（m3）	単位	m3	数量	100	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議	空m３	100			ZKD5815200 管理費区分 T 地方資材単価
計						
単価						

参考資料（1）

単-67号　　WB020051

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	処分費（m3）	単位	m3	数量	100	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	スキ取り物　ボサ類	空ｍ３	100			ZKD5831600 管理費区分 T 地方資材単価
計						
単価						

参考資料（2）

単-68号　　DX022400

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	バックホウ運転費	単位	時間	数量	1	単価	
規格	山積0.8m3級（平積0.6m3）補正なし(土砂等)　排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準)						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	15			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
バックホウ（クローラ）［標準］	排ガス型（第１次）　山積０．８ｍ３	時間	1			M000202031 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（2）（施工パッケージ）

単-69号　　CB210510

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路体（築堤）盛土	単位	m3	数量	1	単価	
規格	2.5m未満						

名称	規格／条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比0.828	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比0.769	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式]	運転質量0.8～1.1t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001070002 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料（2）

単-70号　　DX022400

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	バックホウ運転費	単位	時間	数量	1	単価	
規格	山積0.5m3級（平積0.4m3）補正なし(土砂等)　排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	11			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標準・超低騒音型]	排ｶﾞｽ型(2011年規制) 山積0.5m3	時間	1			MA00202070 管理費区分 無 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（2）

単-71号　　DX022400

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	バックホウ運転費	単位	時間	数量	1	単価	
規格	山積0.5m3級（平積0.4m3）補正なし(土砂等)　排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	人	0.17			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	11			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標準・超低騒音型]	排ｶﾞｽ型(2011年規制) 山積0.5m3	時間	1			MA00202070 管理費区分 無 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（2）

単-72号　　DX023000

単価適用年月	20250728
歩掛適用年月	20250728
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ダンプトラック運転	単位	時間	数量	1	単価	
規格	１０ｔ積級 補正なし（土砂等） 良好						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	人	0.17			R0115 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	9.8			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	１０ｔ積級	時間	1			M000301005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
タイヤ損耗費	１０ｔ積級　良好	時間	1			Z010020102 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費（まるめ）		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

登録単価

		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

コード	名称	規格	単位	単価	登録年度	登録月	備考
Y000800004-001	車止め	Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む） 擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 2	本		2025	7	
Y001503000-002	公園芝	ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上 生ﾛｰﾙ芝 30×200×3cm以上	ｍ２		2025	7	
Y007600000-001	受入費		ｍ３		2025	7	

個人用損料＜データ無し＞

工事番号		工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

コード	名称	規格	単位	区分	単価	登録年度	登録月	備考

集計リスト（機械損料）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	機械損料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
M000202090	バックホウ（クローラ型）［標準型・超低騒音型］	排出ガス対策型（第３次基準値）　山積０．８ｍ３	供用日	0.986			補正有り
M000301005	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	１０ｔ積級	供用日	4.56			補正有り 刊行物単価
M000202031	バックホウ（クローラ）［標準］	排ガス型（第１次）　山積０．８ｍ３	時間	5.039			補正有り グリーン 刊行物単価
M000202096	バックホウ（クローラ）［後方超小旋回型］	排ガス型（第２次）　山積０．２８ｍ３	供用日	0.164			補正有り グリーン 刊行物単価
M000806001	ランマ	質量６０～８０ｋｇ	供用日	0.017			補正有り 刊行物単価
MM000001	その他（機械）		式	1			補正有り
M000701015	モータグレーダ［土工用・排ガス対策型（第２次）］	ブレード幅３．１ｍ	供用日	3.817			補正有り
M000801009	ロードローラ［マカダム・排ガス対策型（第２次）］	運転質量１０ｔ　締固め幅２．１ｍ	供用日	3.977			補正有り グリーン 刊行物単価
MA00202070	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標準･超低騒音型]	排ｶﾞｽ型(2011年規制) 山積0.5m3	時間	17.831			補正有り

集計リスト（機械損料）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	機械損料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
M000291001	掴み装置	開口幅１７００～２０００爪幅４００～７５０mm	時間	17.829			補正有り 刊行物単価
M000301005	ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	１０ｔ積級	時間	48.869			補正有り 刊行物単価

集計リスト（賃料）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	賃料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
L001070002	振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式]	運転質量0.8～1.1t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	2.41			補正有り 刊行物単価
L001005006	ブルドーザ［湿地］	７ｔ級　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	0.058			補正有り 刊行物単価
L001071001	振動ローラ（土工用）[フラット・シングルドラム型]	運転質量１１～１２ｔ　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	0.027			補正有り 刊行物単価
L001010007	バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.907			補正有り 刊行物単価
L001060003	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型]	運転質量8～20t　排出ｶﾞｽ対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	3.886			補正有り 刊行物単価

集計リスト（労務）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	労務

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0114	運転手（特殊）	割増対象賃金比0.778	人	15.728			補正有り 二省労務単価
R0102	普通作業員	割増対象賃金比0.828	人	30.679			補正有り 二省労務単価
R0101	特殊作業員	割増対象賃金比0.769	人	7.775			補正有り 二省労務単価
R0125	土木一般世話役	割増対象賃金比0.775	人	4.587			補正有り 二省労務単価
R0115	運転手（一般）	割増対象賃金比0.793	人	11.954			補正有り 二省労務単価
R0104	造園工	割増対象賃金比0.773	人	1.209			補正有り 二省労務単価
RR000001	その他（労務）		式	1			補正有り
R0803	交通誘導警備員Ａ	割増対象賃金比0.860	人	3			補正有り 二省労務単価

集計リスト（労務）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	労務

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要

集計リスト（材料）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	材料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
Y007600000-001	受入費		m３	90			
Y001503000-002	公園芝	ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝　30×200×3cm以上	m２	23.4			
Y000800004-001	車止め	Φ250 H=450 差込式（ｽﾘｰﾌﾞ含む）　擬石風 ﾘｻｲｸﾙPE 23kg	本	6			

集計リスト（材料）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	材料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
Z006702002	軽油	ミニローリー渡し	L	1,550.048			刊行物単価
ZS8000004	諸雑費（率＋まるめ）		式	1			
ZS3000004	諸雑費（まるめ）		式	1			
Z006704001	ガソリン	レギュラー　スタンド渡し　無鉛　JIS K 2202　2号	L	0.087			刊行物単価
ZAB6408000	合成樹脂管	波状管　φ200㎜　無孔管　耐圧強度2300N/m以上　可とう性35㎜/50N以上　長さ4m/本導水用にも適用可	m	13.572			道産材 道建設部策定単価
ZKD2054000	再生骨材	０～４０mm	m３	4.778			地方資材単価
ZZ000001	その他（材料）		式	1			
ZAB6506000	合成樹脂管	波状管　φ600㎜　無孔管　内面平滑　耐圧強度6900N/m以上　長さ 5m/本　ﾌﾟﾗﾋﾞｭｰﾑ管	m	9.051			道建設部策定単価
ZKD2058000	再生骨材	０～８０mm	m３	174.563			地方資材単価

集計リスト（材料）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	材料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZKD2054000	再生骨材	０～４０mm	m３	207.814			地方資材単価
ZKD2950000	特殊コンクリート製品（無筋）	重量１００kg以下　参考重量２３５０kg／m3	m３	0.12			地方資材単価
Z010020102	タイヤ損耗費	１０ｔ積級　良好	時間	48.858			刊行物単価
ZKD5815200	産業廃棄物一般廃棄物処理料金	枝・抜根等（玉石・土砂等混入なし）　受入の可否は数量により協議	空m３	12.75			地方資材単価
ZKD5831600	産業廃棄物一般廃棄物処理料金	スキ取り物　ボサ類	空m３	105.375			地方資材単価

集計リスト（その他）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	その他

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	諸雑費		式	1			

集計リスト（その他）

	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当　初	工事区分	公園緑地整備･改修
				集計区分	その他

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	公園芝	ｹﾝﾀｯｷｰﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ80%以上　生ﾛｰﾙ芝　30×200×3cm以上	m2	110			
	砕石ﾀﾞｽﾄ（緑色ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	粒径0～2.5mm	m3	33.223			帯広市見積策定単価
	表層安定剤	塩化ｶﾙｼｳﾑ	kg	784.8			刊行物単価

集計リスト（管理費区分別）

凡　例	管理費区分　1:現場管理費/一般管理費等対　管理費区分　2:工場管理費/一般管理費等対　管理費区分　5:一般管理費等対象　管理費区分　7:工場管理/間接労務/一般管 管理費区分　9:全ての間接費対象外及び循　管理費区分　P:輸送に係る間接費の積算を　管理費区分　T:処分費等対象

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当初	事業区分	公園緑地整備･改修
			工事区分	基盤整備

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分　1 管理費区分　P	管理費区分　2 管理費区分　T	管理費区分　5	管理費区分　7	管理費区分　9
残土等処分	【受入費｜　】	m3	90					
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：伐根物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金 ｜枝・抜根等（玉石・土砂等混入	t	10.2					
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金 ｜スキ取り物　ボサ類　】	t	84.3					

法定福利費概算額

【機械設備以外の工事】

1	主たる工種	公園工事	
2	工事価格		
3	非対象額計（－）		(4)＋(5)＋(6)＋(7)
4	工場製作原価		機械設備の場合は製作原価
5	機器単体費		電気設備工事のみ
6	その他費目		VE管理費・スライド足切額等
7	業務委託料		電気設備工事のみ
8	対象額		(2)－(3)
9	法定福利費の割合		
10	法定福利費概算額		(8)×(9)

【機械設備工事】

11	主たる工種		
12	据付工事原価		
13	据付工事原価に占める法定福利費の割合		
14	据付工事原価に占める法定福利費		(12)×(13)
15	製作原価		
16	設計技術費対象額		(12)＋(15)
17	設計技術費対象額に占める法定福利費		(14)
18	設計技術費対象額に占める法定福利費の割合		(17)÷(16)
19	設計技術費		
20	設計技術費に占める法定福利費		(19)×(18)
21	工事原価		(12)＋(15)＋(19)
22	一般管理費等対象額に占める法定福利費		(14)＋(20)
23	一般管理費等対象額に占める法定福利費の割合		(22)÷(21)
24	一般管理費等		
25	一般管理費等に占める法定福利費		(24)×(23)
26	法定福利費概算額		(14)＋(20)＋(25)

【合　　計】

27	法定福利費概算額		(10)＋(26)

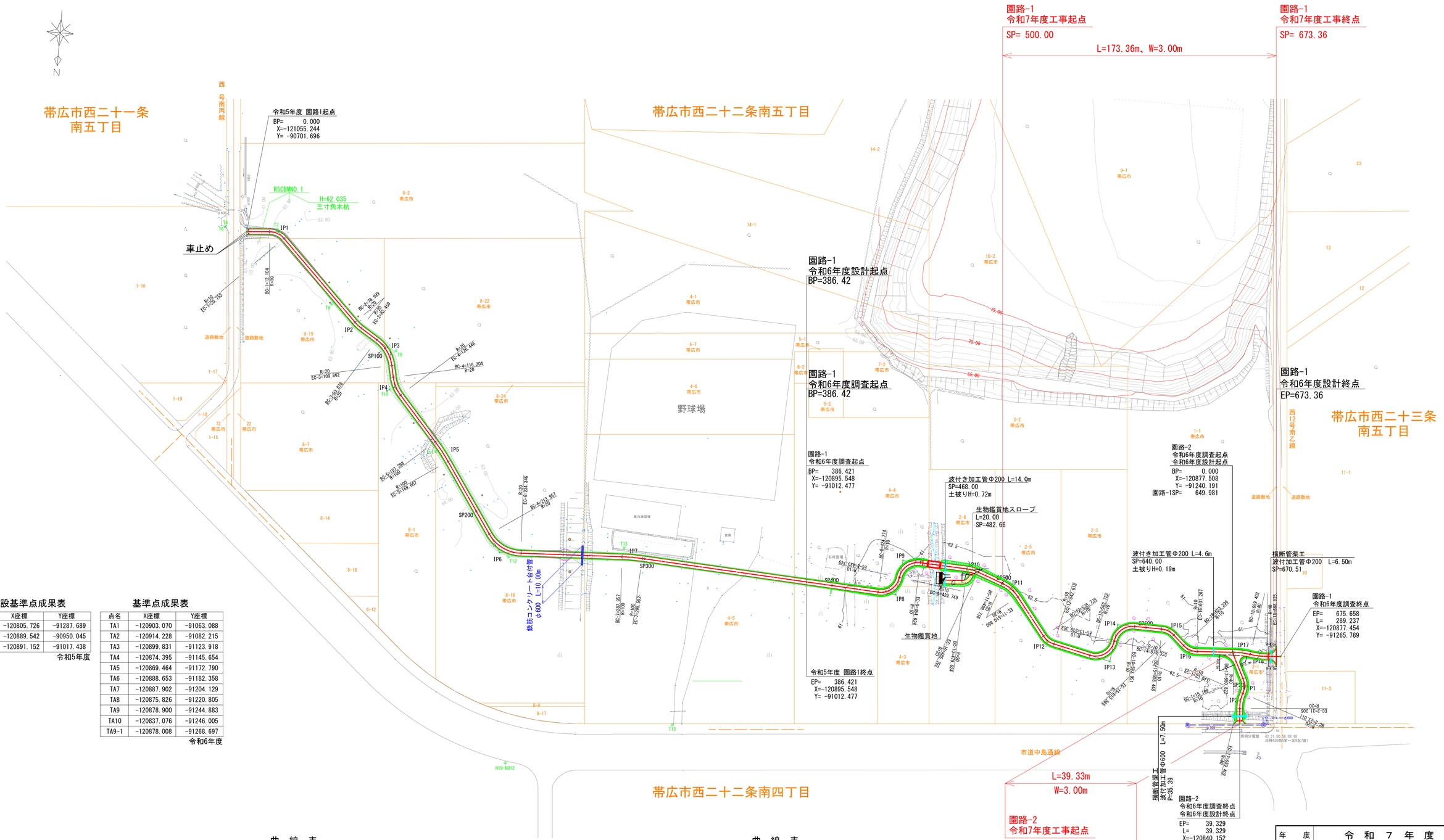
令和　7　年度施行

帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

都市環境部みどりの課

計　画　平　面　図

S=1:1000



既設基準点成果表

点名	X座標	Y座標
H19-N013	-120805.726	-91287.689
T14	-120889.542	-90950.045
T16	-120891.152	-91017.438

令和5年度

基準点成果表

点名	X座標	Y座標
TA1	-120903.070	-91063.088
TA2	-120914.228	-91082.215
TA3	-120899.831	-91123.918
TA4	-120874.395	-91145.654
TA5	-120869.464	-91172.790
TA6	-120888.653	-91182.358
TA7	-120887.902	-91204.129
TA8	-120875.826	-91220.805
TA9	-120878.900	-91244.883
TA10	-120837.076	-91246.005
TA9-1	-120878.008	-91268.697

令和6年度

曲　線　表

【園路①-1】

IPNo	BP	IP8(L)	IP9(R)	IP10(R)	IP11(R)	IP12(L)	IP13(L)	IP14(R)	IP15(R)	IP16(L)	IP17(R)	IP18(L)	EP
IA		85-48-06	85-13-39	17-24-43	31-52-13	39-25-09	95-16-26	83-38-14	40-53-41	45-26-38	12-17-28	13-29-49	
R		10.000	10.000	20.000	20.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	40.000	40.000	
TL		9.293	9.200	3.063	5.710	3.582	10.966	8.947	3.728	4.188	4.307	4.733	
CL		14.975	14.875	6.078	11.125	6.880	16.628	14.597	7.137	7.931	8.581	9.423	
SL		3.651	3.588	0.233	0.799	0.622	4.841	3.418	0.672	0.841	0.231	0.279	
BC	386.421	424.774	439.749	479.624	499.735	535.738	562.725	579.353	608.448	623.336	650.822	659.402	675.658
EC		439.749	454.624	485.702	510.860	542.618	579.353	593.951	615.585	631.267	659.402	668.825	
X	-120895.548	-120892.845	-120911.182	-120909.441	-120901.607	-120874.695	-120867.170	-120886.923	-120886.494	-120876.052	-120877.835	-120876.476	-120877.454
Y	-91012.477	-91060.046	-91062.444	-91099.665	-91121.084	-91142.140	-91175.968	-91178.487	-91205.656	-91217.335	-91245.327	-91254.264	-91265.789

曲　線　表

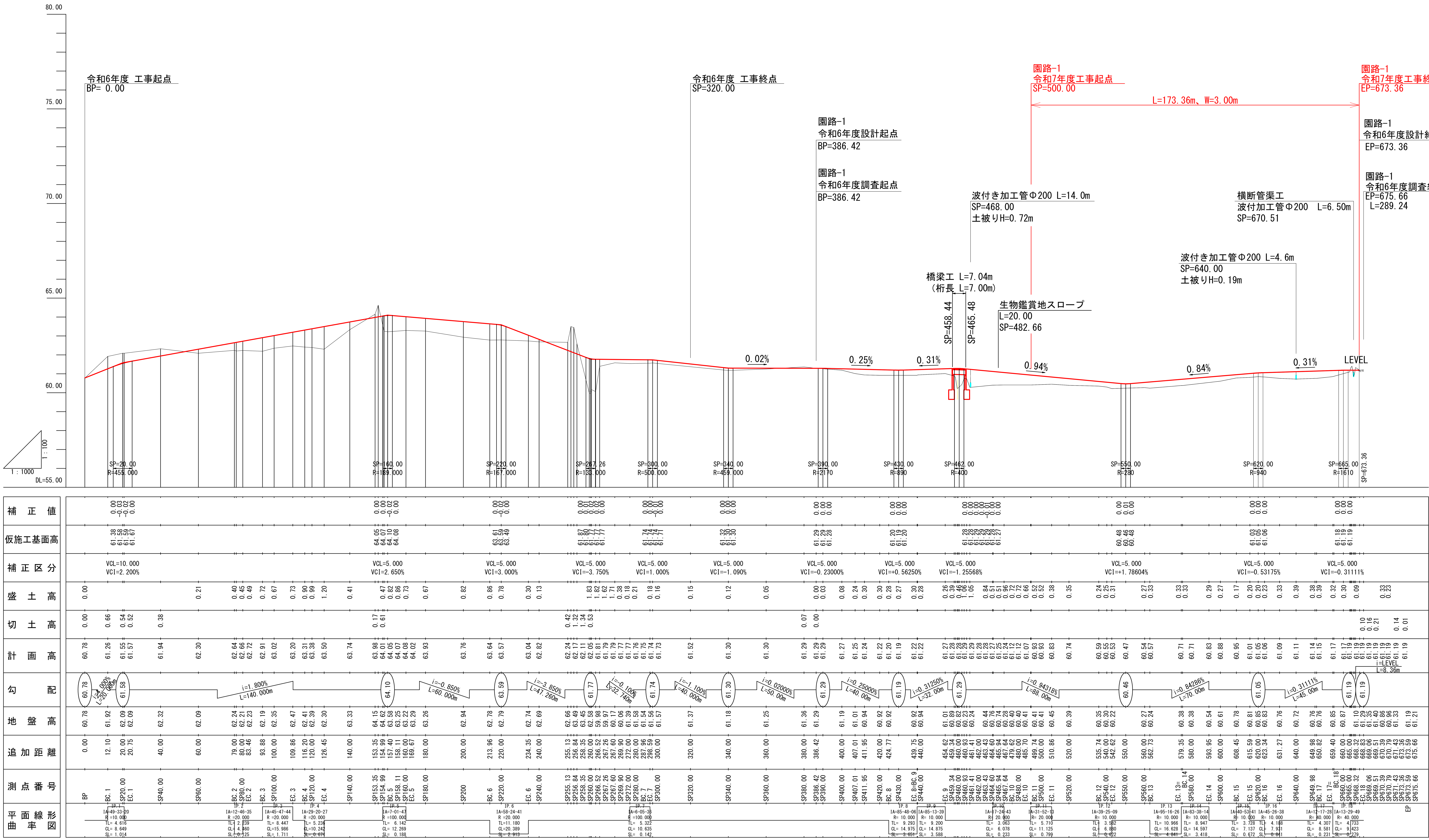
【園路①-2】

IPNo	BP	IP1(R)	IP2(L)	EP
IA		45-16-33	23-28-08	
R		10.000	20.000	
TL		4.170	4.154	
CL		7.902	8.192	
SL		0.835	0.427	
BC	0.000	15.109	23.011	39.329
EC		23.011	31.205	
X	-120877.508	-120860.277	-120852.387	-120840.152
Y	-91240.191	-91248.839	-91246.180	-91247.217

年　度	令　和　7　年　度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図面名	計　画　平　面　図		
縮　尺	1：1000	図面番号	1
設計年月	令和 7 年 1 月		
設計者名	株式会社 土木技術コンサルタント		

北　海　道　帯　広　市

縦　断　図　(1)

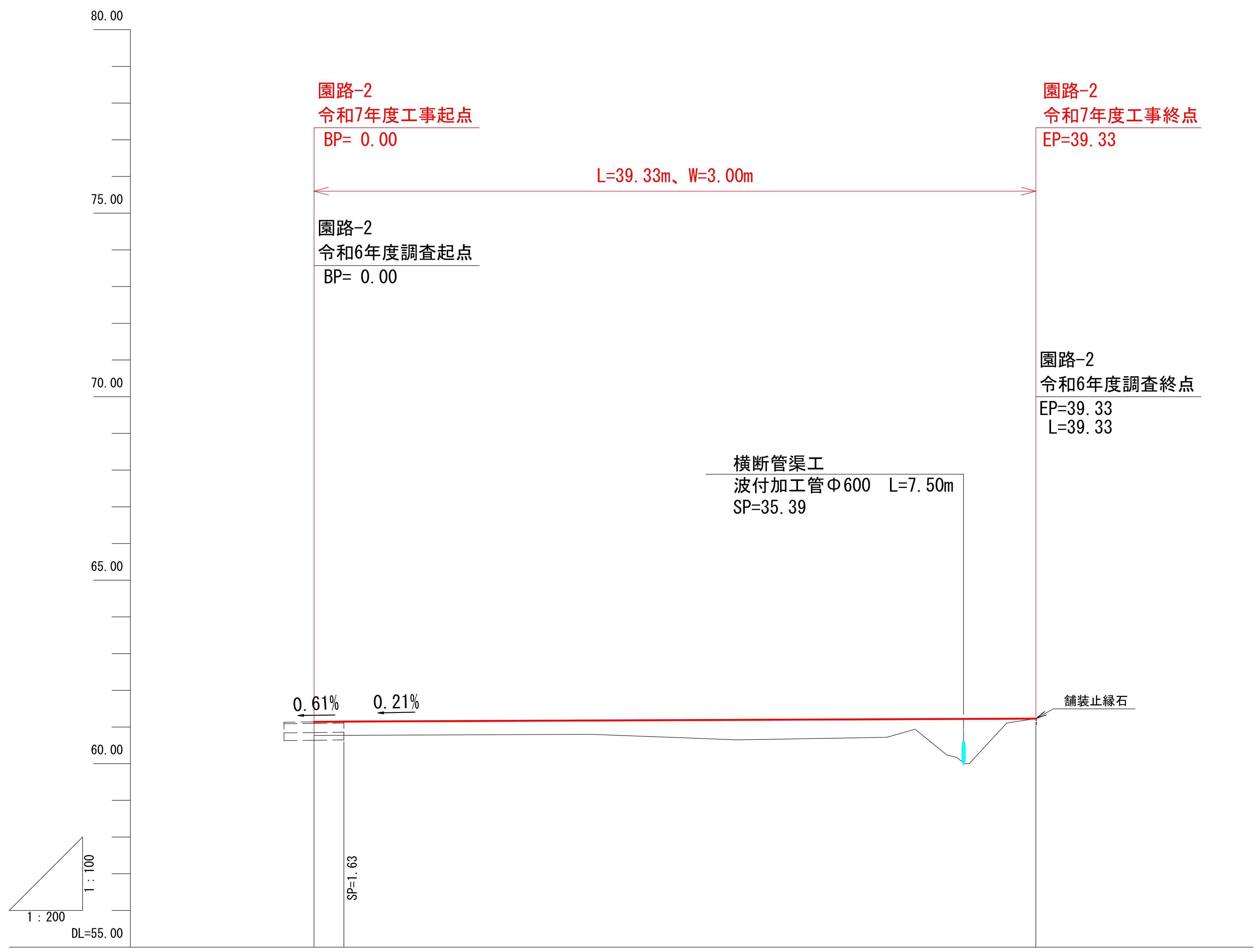


園路-1　SP=500.00～EP=673.36m

年　度	令　和　7　年　度
公園名	帯広の森
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）
図面名	縦　断　図　（1）
縮　尺	V=1:100 H=1:1000 / 図面番号 2
測量年月	令和 7 年 1 月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント

北　海　道　帯　広　市

縦 断 図 (2)



測点番号	補正値	仮施工基面高	補正区分	盛土高	切土高	計画高	地盤高	追加距離
BP				0.38		61.14	60.76	0.00
1.63						61.15		1.63
7.39				0.38		61.16	60.78	7.39
BC.1				0.38		61.18	60.80	15.11
SP20.00				0.48		61.19	60.71	20.00
EC.1=BC.2				0.55		61.20	60.65	23.01
EC.2				0.49		61.21	60.73	31.21
SP32.75				0.28		61.22	60.94	32.75
SP34.47							60.24	34.47
SP35.02				1.05		61.22	60.17	35.02
SP35.44				1.22		61.22	60.00	35.44
SP35.70				1.23		61.23	60.00	35.70
SP37.74				0.12		61.23	61.11	37.74
EP						61.23	61.23	39.33

勾配: 61.14 / i=0.61350% L=1.63m / 61.15 / i=0.21220% L=37.70m / 61.23

平面線形曲率図:

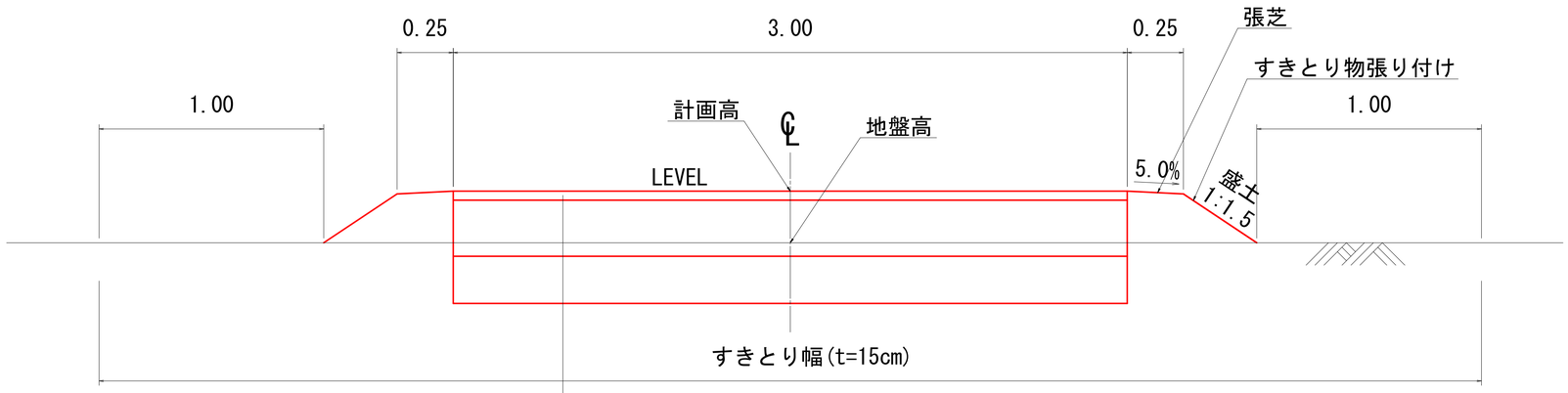
IP.1	IP.2
IA=45-16-33	IA=23-28-08
R= 10.000	R= 20.000
TL= 4.170	TL= 4.154
CL= 7.902	CL= 8.192
SL= 0.835	SL= 0.427

園路-2 BP=0.00～EP=39.33

年 度	令 和 7 年 度		
公 園 名	帯 広 の 森		
工 事 名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図 面 名	縦 断 図 （2）		
縮 尺	V=1:100 H=1:200	図面番号	3
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北 海 道 帯 広 市			

土工定規図

S=1:20

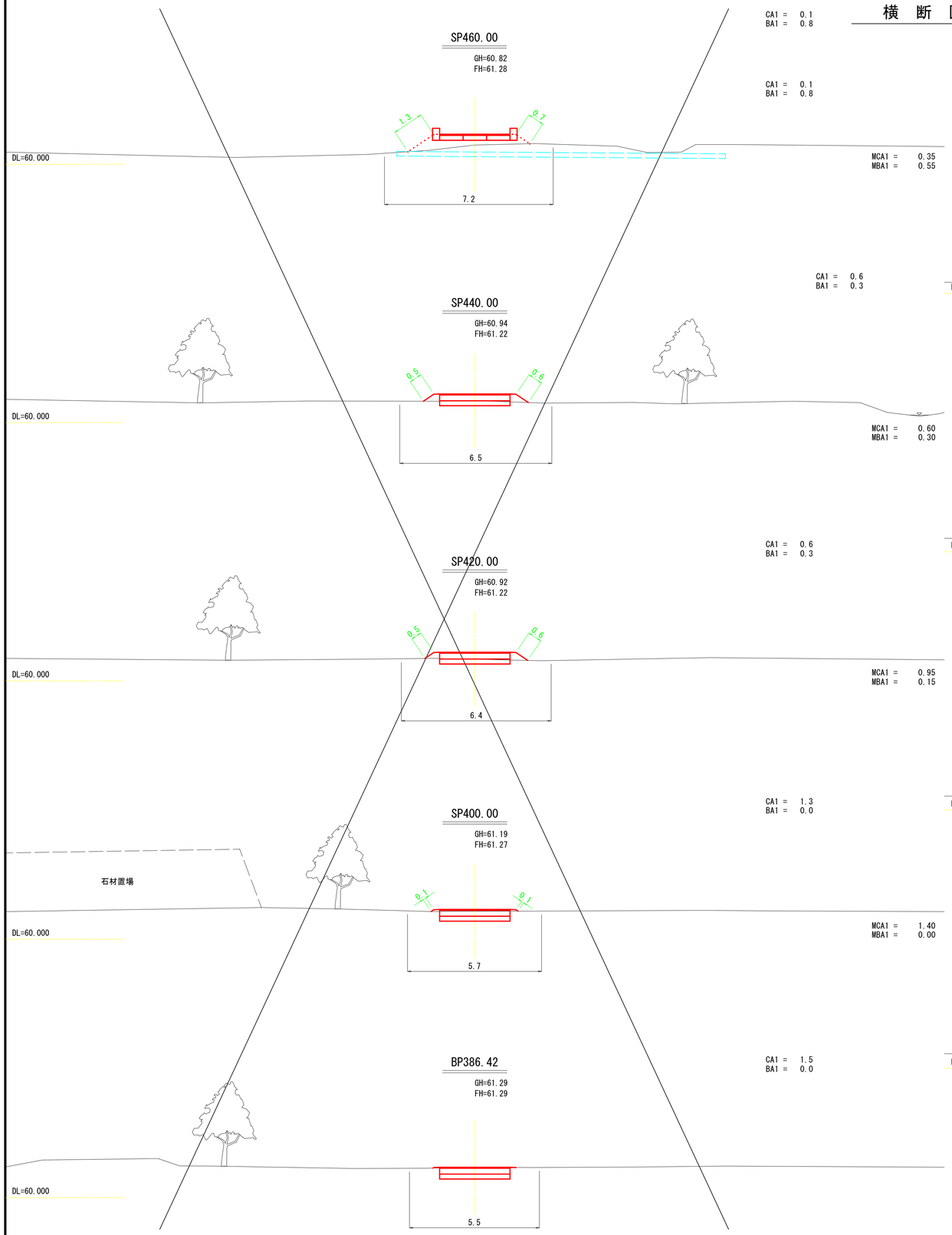


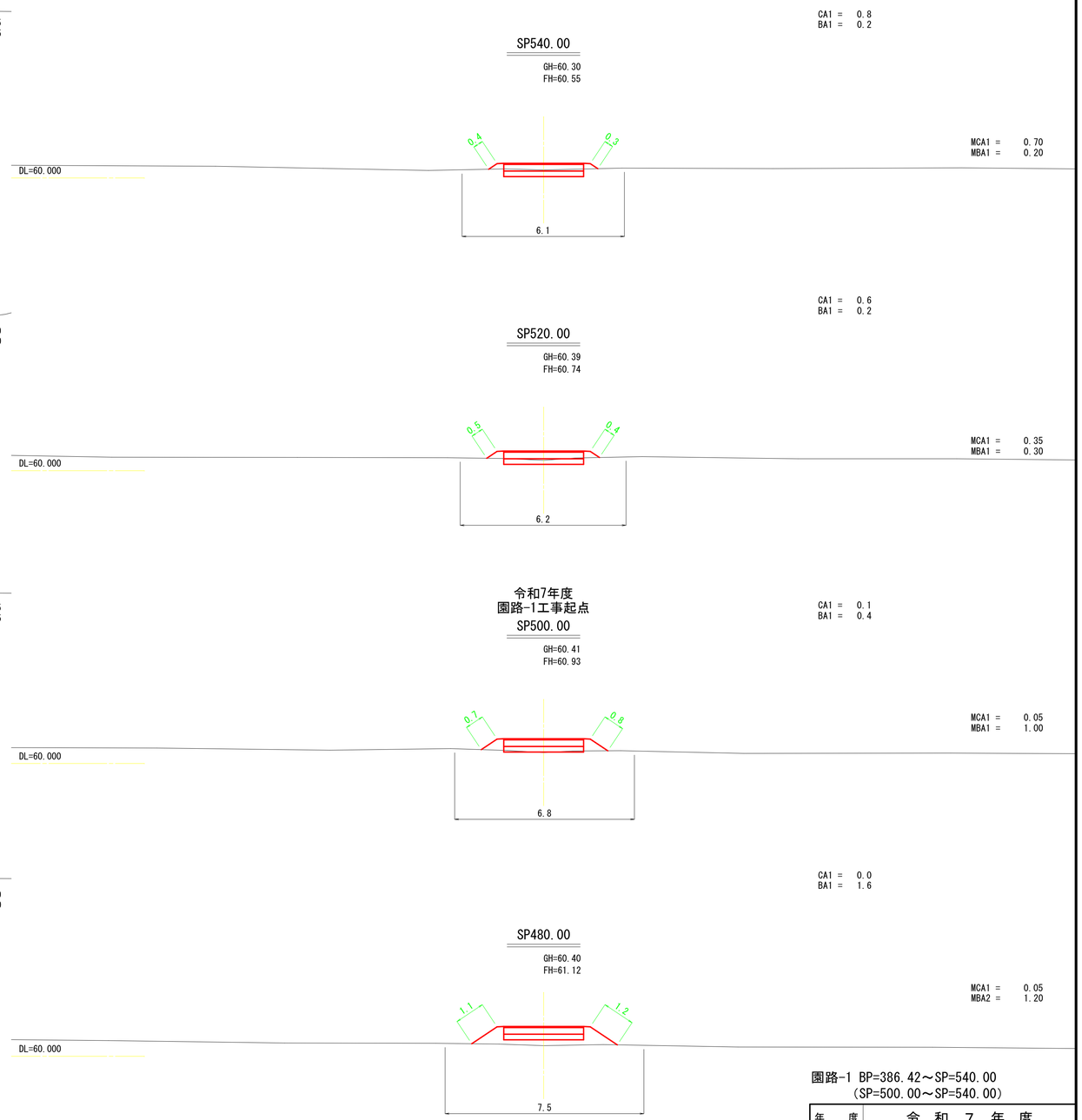
表層(ダスト舗装)	t= 4cm
下層路盤工(再生骨材40mm級)	t=25cm
凍上抑制層(再生骨材80mm級)	t=21cm
	Σt=50cm

年度	令和 7 年 度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図面名	土工定規図		
縮尺	1：20	図面番号	4
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北海道帯広市			

横　断　図　(1)

S=1:100





凡　例

CA =	土砂掘削
BA1=	路床盛土

園路-1 BP=386.42～SP=540.00
(SP=500.00～SP=540.00)

年　度	令　和　7　年　度		
公 園 名	帯 広 の 森		
工 事 名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図 面 名	横断図（1）		
縮　尺	1：100	図面番号	5
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北 海 道 帯 広 市			

横　断　図　(2)

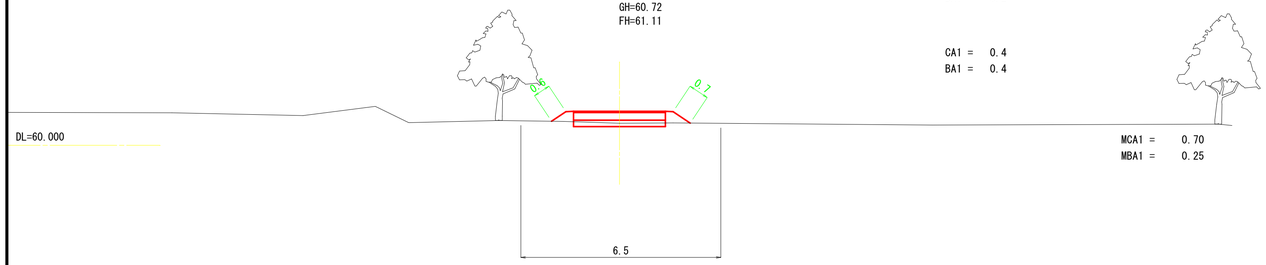
S=1:100

SP640.00

GH=60.72
FH=61.11

(SP643.36園路-2交差点部)
CA1 =　0.4
BA1 =　0.2

CA1 =　0.4
BA1 =　0.4

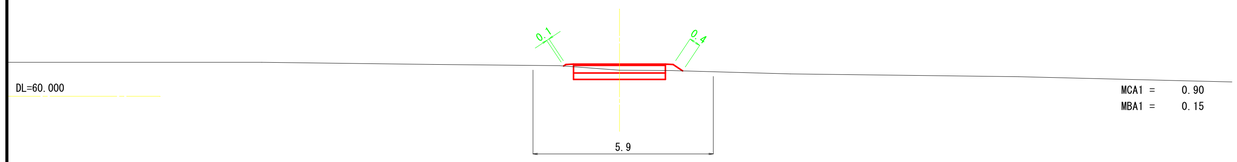


MCA1 =　0.70
MBA1 =　0.25

SP620.00

GH=60.85
FH=61.05

CA1 =　1.0
BA1 =　0.1

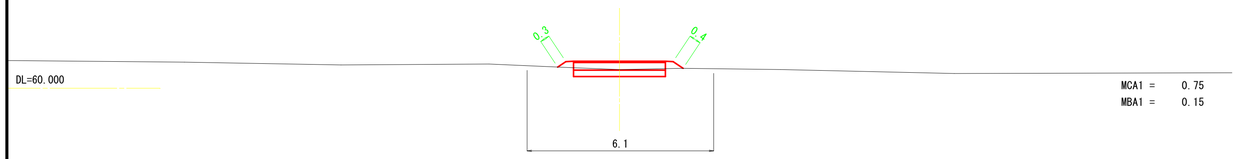


MCA1 =　0.90
MBA1 =　0.15

SP600.00

GH=60.61
FH=60.88

CA1 =　0.8
BA1 =　0.2

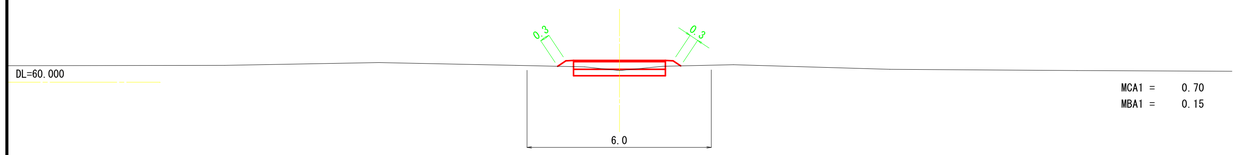


MCA1 =　0.75
MBA1 =　0.15

SP580.00

GH=60.38
FH=60.71

CA1 =　0.7
BA1 =　0.1

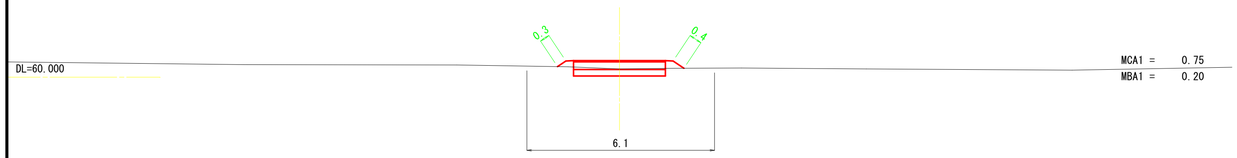


MCA1 =　0.70
MBA1 =　0.15

SP560.00

GH=60.27
FH=60.54

CA1 =　0.7
BA1 =　0.2

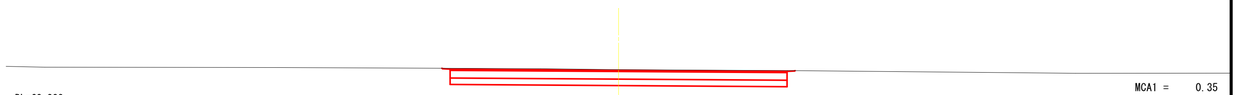


MCA1 =　0.75
MBA1 =　0.20

令和7年度 園路-1工事終点 (673.36) EP675.66

GH=61.21
FH=61.19

CA1 =　0.0
BA1 =　0.0



MCA1 =　0.35
MBA1 =　0.10

(SP669.36)
CA1 =　0.7
BA1 =　0.2

MCA1 =　0.70
MBA1 =　0.20

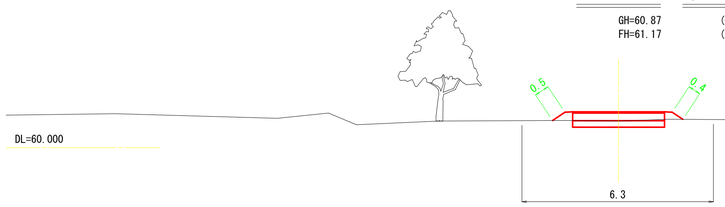
SP660.00　(SP669.36)

GH=60.87　(GH=61.35)
FH=61.17　(FH=61.19)

CA1 =　0.7
BA1 =　0.2

MCA1 =　0.70
MBA1 =　0.20

(SP657.88園路-2交差点部)
CA1 =　0.7
BA1 =　0.1



(643.36～657.88)
MCA1 =　0.55
MBA1 =　0.15

園路-1 SP=560.00～EP=675.66

凡　例

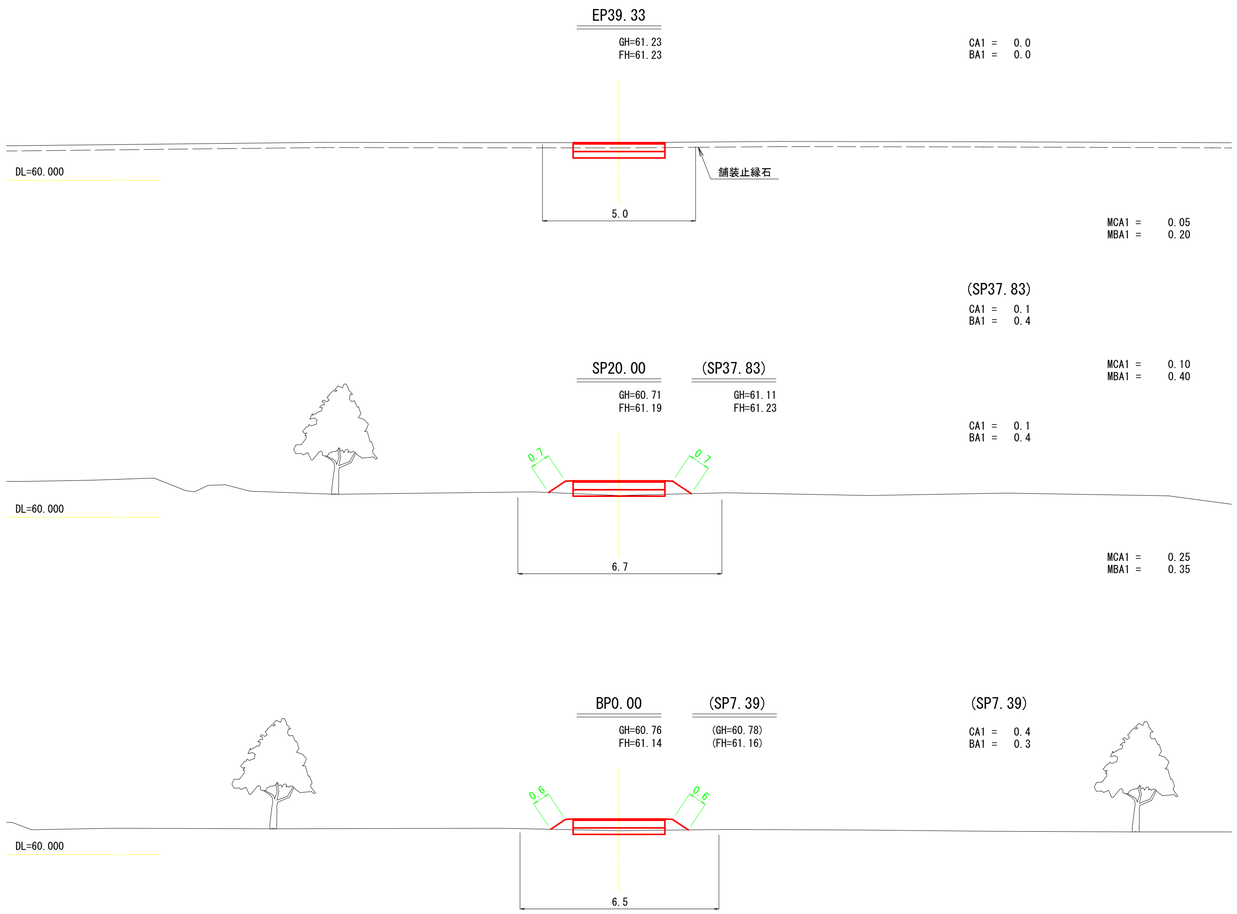
CA =　土砂掘削
BA1=　路床盛土

年　度	令　和　7　年　度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図面名	横断図（2）		
縮　尺	1：100	図面番号	6
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		

北　海　道　帯　広　市

横　断　図　(3)

S=1:100



凡　例

CA =	土砂掘削
BA1=	路床盛土

園路-2 BP=0.00～EP=39.33

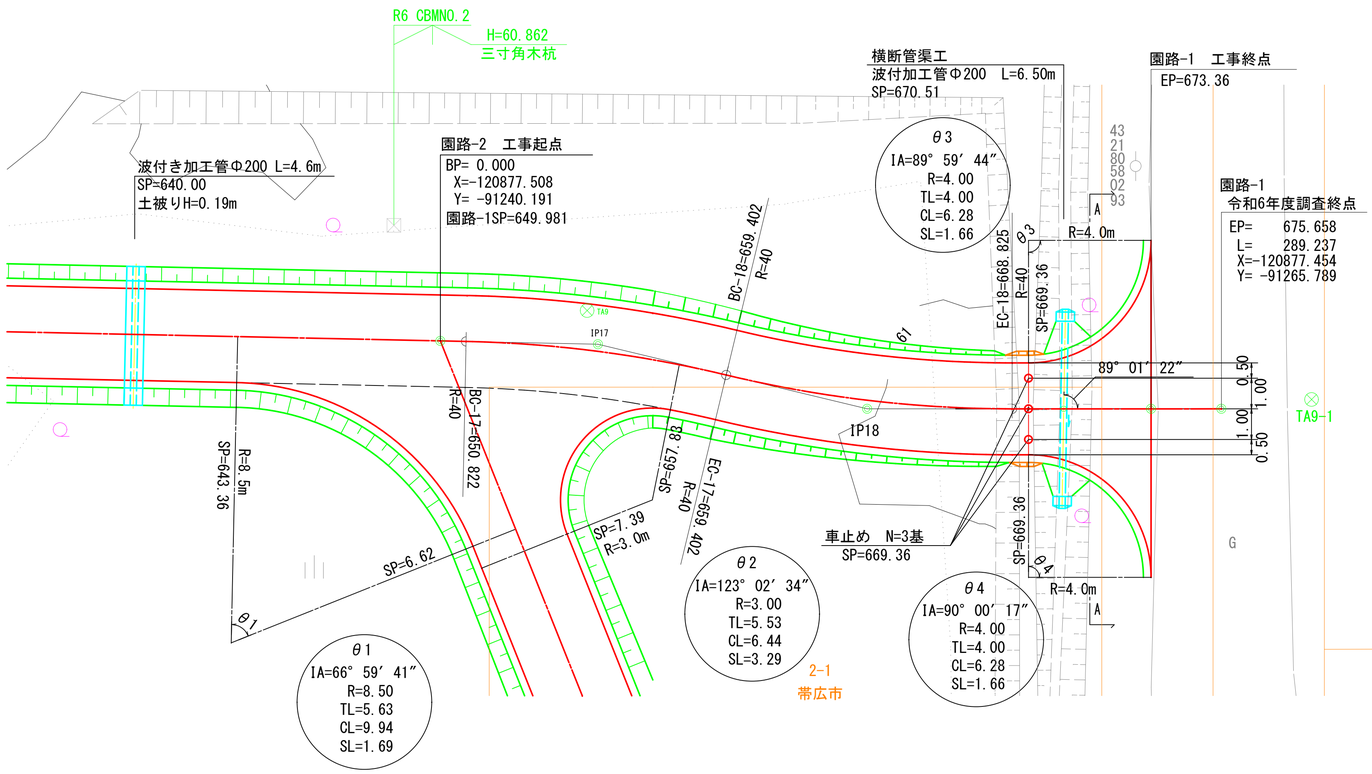
年　度	令　和　7　年　度		
公 園 名	帯 広 の 森		
工 事 名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図 面 名	横 断 図 (3)		
縮　尺	1 : 100	図面番号	7
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北 海 道 帯 広 市			

巻込工設計図（1）

（園路-1,園路-2交差部　園路-1終点巻込部）

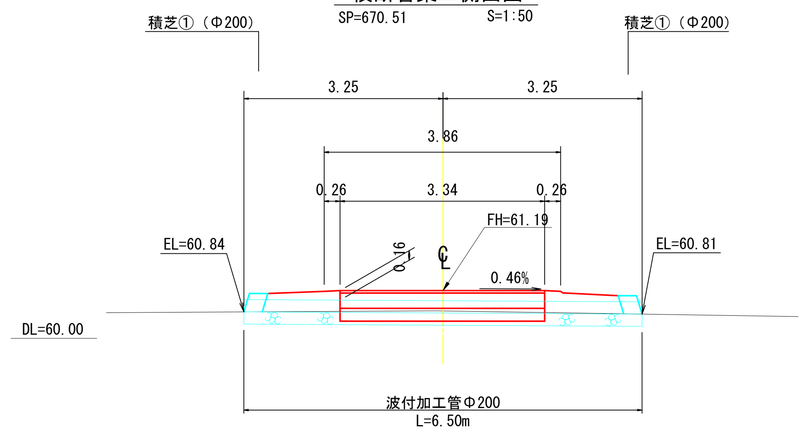
平面図

S=1:100



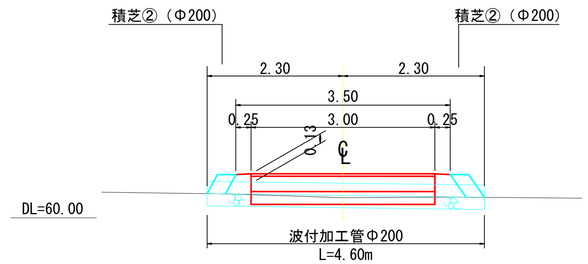
横断管渠工側面図

SP=670.51　S=1:50



波付き加工管側面図

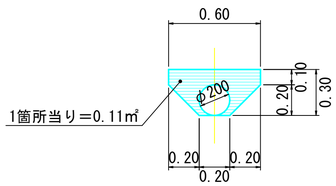
SP=640.00　S=1:50



積芝①

S=1:20

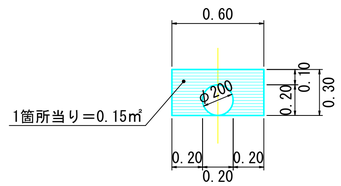
正面図



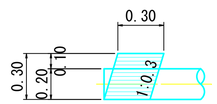
積芝②

S=1:20

正面図

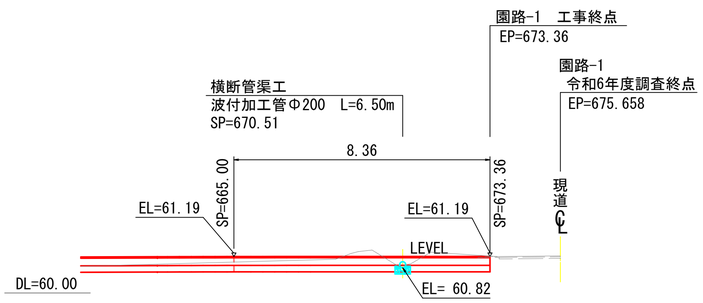


側面図



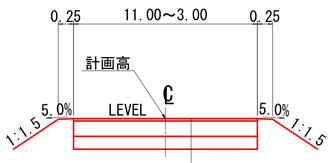
断面図

S=1:100



A-A断面

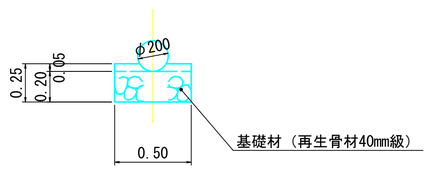
S=1:50



表層（ダスト舗装）	t= 4cm
下層路盤工(再生骨材40mm級)	t=25cm
凍上抑制層(再生骨材80mm級)	t=21cm
	Σt=50cm

波付加工管Φ200断面図

S=1:20



園路-1

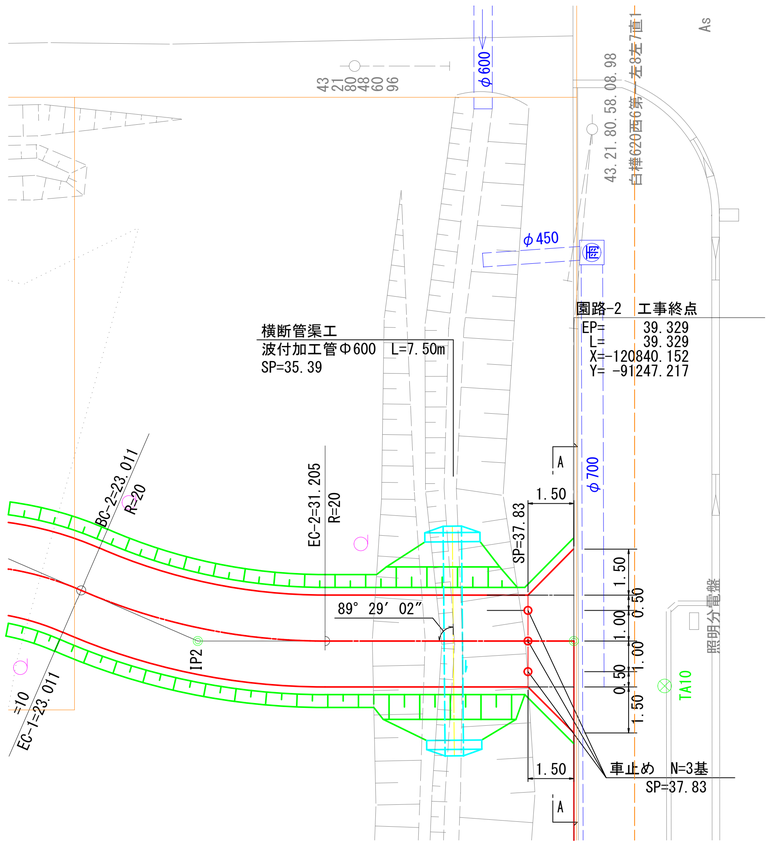
年　度	令　和　7　年　度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図面名	巻込工設計図（1）		
縮　尺	図　示	図面番号	8
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北　海　道　帯　広　市			

巻込工設計図（2）

（園路-2 終点巻込部）

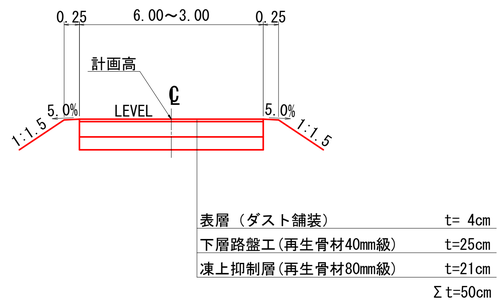
平面図

S=1:100



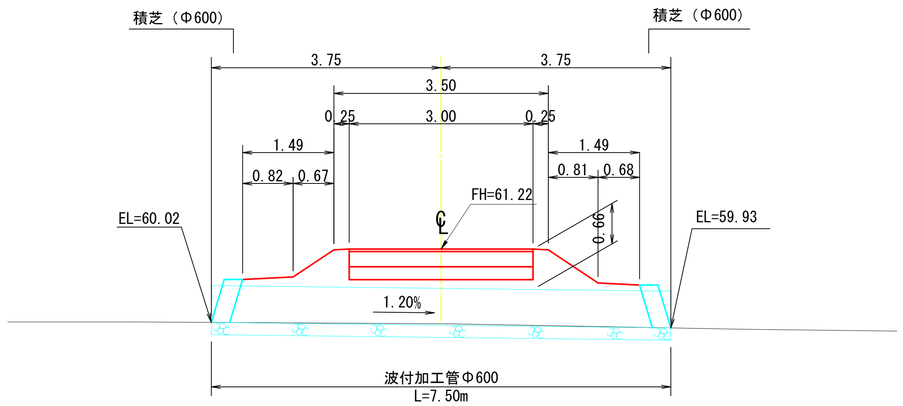
A-A断面

S=1:50



横断管渠工側面図

SP=35.39 S=1:50

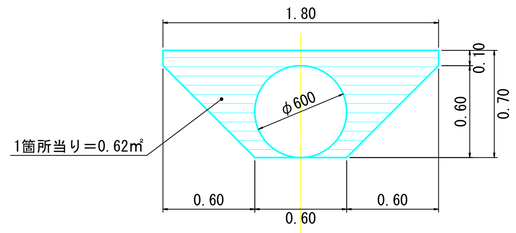


DL=58.00

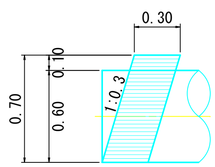
積　芝

S=1:20

正面図

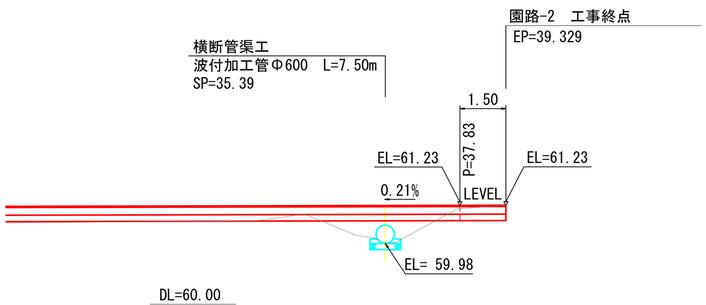


側面図



断面図

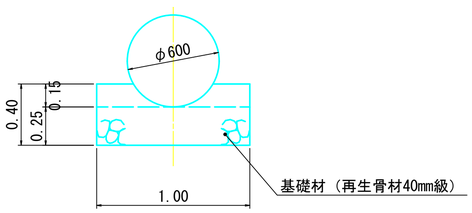
S=1:100



DL=60.00

波付加工管Φ600断面図

S=1:20



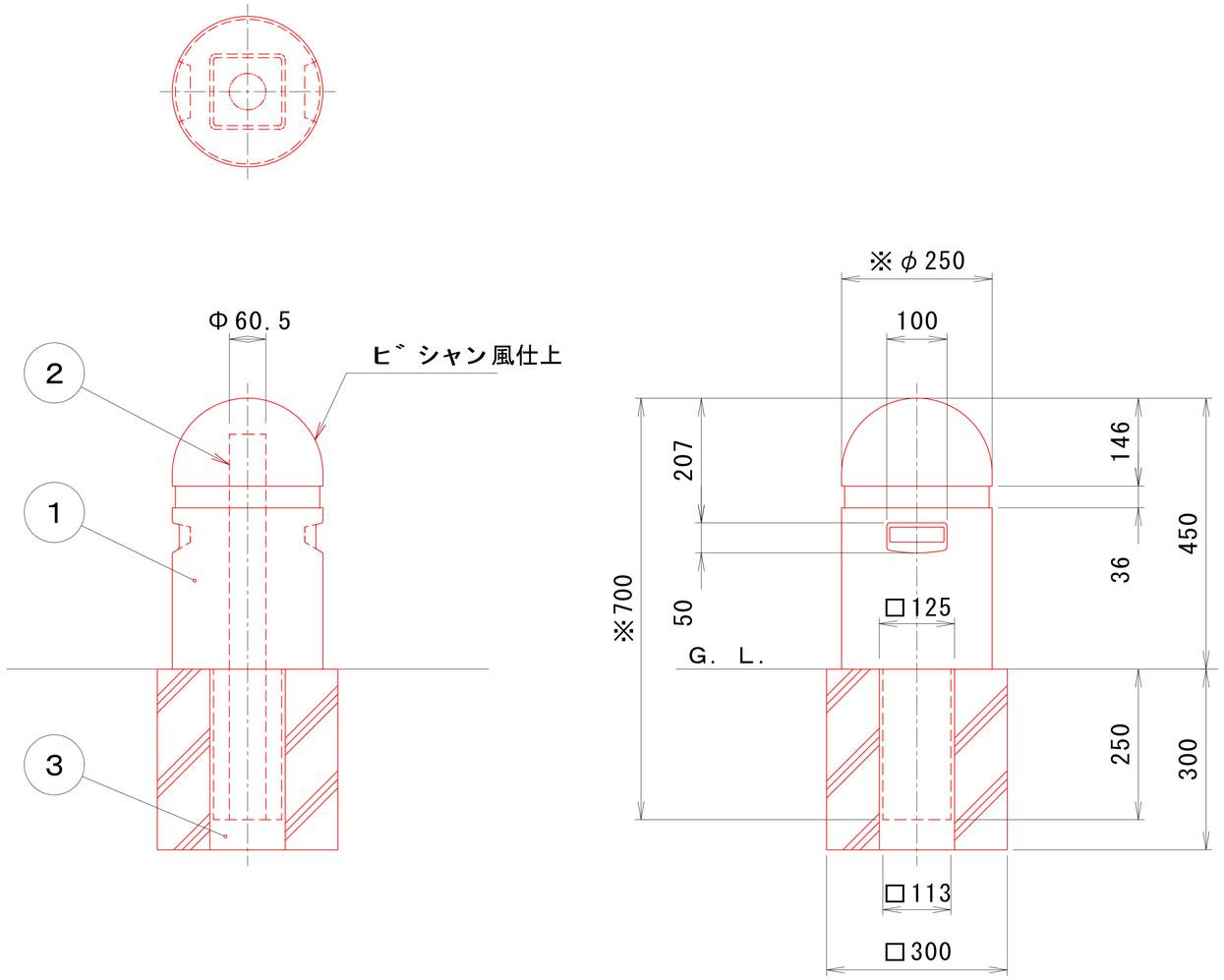
園路-2

年　度	令　和　7　年　度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図面名	巻込工設計図（2）		
縮　尺	図　示	図面番号	9
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北　海　道　帯　広　市			

参考図

車止め詳細図

S=1:5



※注1．※印の寸法は製造上φ２５０ $^{+0}_{-5}$ 、７００ $^{+10}_{-5}$ の公差範囲になります。

※注2．表面のマーブル調の模様は成形時に偶発的にできるもので、製品ごとに異なります。

番号	品　　名	数量	材　　質	備　　考
1	本体	1	リサイクルポリエチレン＋リサイクルエポキシ３０％	φ２５０（グレー）
2	中芯パイプ	1	鋼管　　ＳＴＫ４００	φ６０．５×ｔ２．３　亜鉛メッキ鋼管
3	差込スリーブ	1	鋼管　　ＳＴＫＲ４００	□１２５×ｔ３．２　溶融亜鉛メッキ

年　度	令　和　７　年　度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）		
図面名	車止め詳細図		
縮　尺	1：5	図面番号	１０
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北海道帯広市			